ライオン誌8月号 2005年（平成17年）7月20日発行
昭和33年12月19日付第3種郵便物認可
毎月1回20日発行第48巻第2号

THE Lion

IN JAPAN
Official publication of Lions Clubs International

August 2005

8

THEME 2005-06年度国際プログラム

PICK UP 明日のライオンズを考える

ROAR 香港国際大会

第48巻第2号

We Serve

CONTENTS

表紙メモ

●
2005-06年度
ライオンズクラブ国際協会
国際会長
●
アショク・メータ夫妻
●
デザイン：内田誠治

INTERNATIONAL PRESIDENT'S MESSAGE

国際会長メッセージ

2005-06年度国際会長
アショク・メータ
Ashok Mehta

発展への焦点はプラス1

Plus One: Our Year's Focal Point for Growth

ライオンズクラブの会員数は一九九六年にピークを迎えましたが、その後は百四十万人内外の水準で停滞を続け、近年では減少傾向を見せ、二〇〇五年五月末では約百三十四万人となっています。会員の増加は言うまでもなく、ライオンズの奉仕活動が強化されることを意味しています。したがって、私たちは何としても拡大を続けねばならず、会員の招請、維持、エクステンションの分野に一層の努力を傾けるよう、クラブのリーダーたちに強く呼び掛ける必要があります。

ライオンズの奉仕は本来、自らの力を最大限に発揮し、他者の生活を改善したいという心からの願いに基づいています。自らに、そして他者にも飛躍をもたらそうと常に努力を続けてきたからこそ、私たちは世界最大の奉仕組織としての名声を確立することが出来たのです。このような観点から、私は本年度のテーマに「飛躍への情熱」を選びました。このテーマは私自身の夢を実現させると同時に、国際協会の決定的な必要にこたえるものとなるはずです。

「飛躍への情熱」を構成するのは、奉仕、発展、指導、推進、実践の五つの要素です。この中でも特に重視すべきは、「発展への情熱」です。国際協会では数年にわたり、会員増強の重要性を繰り返し強調し続けてきました。本年度はミッション30チームの任命によって、この分野に新たな局面が切り開かれることになるでしょう。このチームは、地区ガバナー、

《飛躍への情熱》

副地区ガバナー、MERLチームを支援し、集中的に会員増強の推進に取り組みます。
また、本年度の会員増強プログラム「プラス1」では、各クラブが一人の会員純増を達成し、各地区が一つのクラブ純増を果たすことに挑戦します。成果を収めたあらゆる会員は、アワードによって表彰されます。新たな会員を招請して成功を分かち合うこと、正クラブ、学内クラブ、新世紀クラブ、クラブ支部の別を問わず、新クラブを結成することは、明らかに会員の増強につながります。同時に会員を維持することも、今後の発展に向けた重要な鍵となるでしょう。それぞれの地域社会には、現在の会員数を上回る退会者が存在すると言われています。したがって、各クラブは退会してしまうことのないよう、会員が効果的な戦略を模索しなければなりません。
このように、新会員の招請、新クラブの結成、会員維持の強化はすべて、会員の確保と回復に不可欠な要素となります。
会員の一人ひとりがこれまでの経験を生かし、年間を通して質の向上、会員維持、エクステンション、女性と若い会員の招請に努めれば、世界中で会員純増が果たされることになるでしょう。国際協会の将来はプラス1の達成によって決定されるものと、私は信じて疑いません。
各地域社会の人々は、世界最大の奉仕クラブ組織への招請を快く受け入れるはずです。ライオンズクラブへの入会は、社会に奉仕する絶好の機会を与えます。有能な男女を探し求め、会員としての喜びを分かち合おうではありませんか。

「プラス1」への挑戦

会員が一人増えるだけでも、国際協会には計り知れない成果がもたらされます。各クラブに会員が一人加わり、各地区にクラブが一つ増えれば、新たに六万人の人々が人道奉仕に手を貸してくれることになるのです。

7月1日、第88回香港国際大会最終日の閉会式で、就任演説を行うメータ新会長。国際プログラム「飛躍への情熱」について説明。本年度、高みを目指し飛躍することを会員たちに呼び掛けた

ライオンズの皆さん

インド・アグラのヤムナー川沿いにそびえ立つ壮大なタージ・マハルは、人類の偉業の一つとして世界中で認められています。十七世紀、ムガール帝国の皇帝シャー・ジャハーンが王妃ムムターズ・マハルの死を悼み、永遠の愛の証しとして、二十二年の歳月をかけて造営された霊廟です。「他の建物のような単なる建築物ではなく、生気を宿した石が形成した、まさしく皇帝の王妃への強い愛情の賜物である」。詩人エドワード・アーノルド卿がタージ・マハルを表現した言葉です。毎年ここを訪れる多くの参拝者たちが、そうした印象を受けています。

これと同様の情熱を、私たちは偉業を成し遂げた人々から感じ取ることが出来ます。路上で暮らす子どもたちを救ったマザー・テレサ、そして目が見えず、耳が聞こえなくとも、手に触れることで人々に熱意を伝えたヘレン・ケラーは、貧しい人々や、恵まれない人々を支援する私たちの活動に大きな感銘を与えます。また、この奉仕と希望に対する力強いイメージは、苦難、紛争、貧困を世界からなくそうという私たちの大志を奮い立たせます。

ライオンズの奉仕活動は、人々によりよい生活をもたらそうという強い情熱に動機付けられています。自分自身、そして他者の飛躍のためにまい進することで、ライオンズクラブは世界最大の奉仕クラブ組織としての地位を確立してきました。そして、ライオンズの会員になるということは、飛躍への情熱を持って奉仕活動を行う決意がある、ということを世界中で意味しているのです。

二〇〇五・〇六年度の国際プログラム「飛躍への情熱」では、奉仕、発展、指導、推進、実践の五つの分野において、更に高く飛躍しようとするライオンズの情熱に、新たな鋭気を養います。

奉仕への情熱

ライオンズの奉仕への情熱は、日々行われている数々の奉仕活動から見て取ることが出来ます。人々の深刻なニーズに取り組み、ライオンズクラブ国際協会の使命を果たしています。そして、奉仕は恩恵であって、決して負担であってはならないと考えています。

青少年プログラム：レオクラブ、ライオンズ・クエスト、奉仕における若い指導者アワードなどを通して、未来のリーダーの育成を行っています。

視力関連プログラム：ライオンズは視覚障害者のための活動を始め、視力回復及び失明予防活動でよく知られています。そして私たちはＬＣＩＦの新しい資金獲得活動であるキャンペーン視力ファーストⅡを支援することで、数百万人もの人々を失明という悲劇から救うことが出来るでしょう。

児童奉仕プログラム：昨年度から開始されたこのプログラムでは、既に数多くのクラブが教育や保健サービスを提供する形で、苦境に置かれた子どもたちのニーズに親身にこたえてくれています。本年度、私は、貧困、疾病、障害、そして非識字に苦しむ恵まれない子どもたちを支援する奉仕事業を、少なくとも一つ実行するよう各クラブに奨励します。

国際協会公認奉仕プログラム：ライオンズの奉仕活動は、世界中のニーズと同様、実に幅広くさまざまな分野を網羅しています。このプログラムには、七つの奉仕分野（視覚障害者福祉、ライオンズ青少年のための機会、環境奉仕、糖尿病教育、聴覚・言語障害者福祉、国際関係、地域社会奉仕）からなる五十以上の活動が記載されています。国際協会の公式ウェブサイト（www.lionsclubs.org）に詳しく説明されていて、地元で行われている活動の補助となるだけでなく、ライオンズの奉仕の使命を果たす上で多様な選択肢をクラブに提供しています。

発展への情熱

ナンシー・オースティンとトム・ピーターズの共著『エクセレント・リーダー――超優良企業への情熱』の概念を適用させるならば、優れたライオンズクラブは多くの「顧客」、つまり会員が増えることによってのみ、優良クラブでいることが出来ます。奉仕はライオンズの使命、そして会員はクラブの発展にとって不可欠な存在です。会員維持・増強は、奉仕クラブ組織における最優先事項です。クラブとは、共通の関心事に熱意を傾ける複数の会員によって組成される団体です。単なる趣味仲間や派閥とは異なり、選りすぐられた、そして数多くの会員によって繁栄がもたらされるのです。

こうした理由から、二〇〇五・〇六年度は次の目標を掲げ、発展を目指します。

プラス１：一クラブにつき一人以上の会員純増を達成するよう、各クラブ会長に要請致します。地区もまた、一地区が新クラブを一つ以上純増させるよう、各地区ガバナーに要請します。

女性会員：全世界で女性会員を五万人増やしましょう。毎年ライオンズクラブを通して、多くの女性が奉仕の機会を見いだしています。そして喜ばしいことに、本協会において、重要な役職につく女性の数が毎年増えています。

若い会員：元レオクラブ会員が既存

のライオンズクラブに入会したり、新クラブを結成したりすることも奨励します。優れた能力や、やる気を持った何千人ものレオが、新世紀ライオンズクラブや学内クラブといった機会を利用して、ライオンズ会員になっています。これまで以上に多くの若者が、ライオンとして奉仕への情熱を持ち続けていってくれることを私は期待しています。

25、200、30：私たちは本年度、会員招請、会員維持、エクステンションを通じて年間の退会者数を二五？減らし、更にはライオンズクラブ国際協会を二百の国と地域に広げることが出来ると確信しています。これらの新たな試みを実現させるために私は、経験豊富なライオンズで構成される国際チーム＝ミッション30を立ち上げました。本協会における発展への情熱を全面的に支援します。

二〇〇五・〇六年度、クラブ並びに地区において、会員維持・増強を促進させた地区ガバナーやクラブ会長を始めとするライオンは、新しいアワードを獲得する資格を得ます。このアワード・プログラムの概要を紹介する「飛躍への情熱、発展への情熱」というパンフレットが、二〇〇五・〇六年度クラブ役員資料一式と共に各クラブあてに送られました。また、アワードに関して詳しく紹介しているパンフレットと申請書が、国際協会の公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org)からダウンロード出来ます。アワードに関して、更に詳細を知りたい方は、国際本部のエクステンション及び会員部にEメールでお問い合わせください(extension@lionsclubs.org)。

指導への情熱

トレーニング：指導への情熱では、講師の訓練を始めとした各種トレーニング・プログラムに重点を置きます。講師の技量が高ければ高いほど、指導力育成訓練の質が高くなるわけです。人々の指導や、効果的な進行が出来ると見込まれたライオンは、その能力を更に高める努力をしてください。地区及びクラブの指導者は、ライオンズ・リーダーシップ研究会、MERL委員長セミナー、ライオンズ・オンライン学習センターなど、ライオンズクラブ国際協会によって提供される指導力育成の機会を会員たちが利用するよう促してください。私の会長任期中、クラブ及び地区の役員研修を優先事項とします。そしてその結果として、より良いトレーニングを受けた指導者や優良クラブを増やし、これまで以上の地域社会奉仕を実施します。

オリエンテーション：奉仕の精神を持つ人々がクラブに入会する際、彼らは熱意と期待で満ちあふれています。しかしながら多くの人々は、ライオンズクラブで何が出来るのか、もしくは、彼ら自身がどのような貢献が出来るのかということを明確には理解していません。残念なことに退会者の実に半数は、入会から三年未満の会員です。この重要な期間に、私たちは新会員にその熱意や情熱を持ち続けてもらうために必要な、すべてのことを伝えなければいけません。クラブ会長は、ライオンズクラブ国際協会が製作した「オリエンテーション・ガイド」を活用し、会員招請活動に役立ててください。

メンター・プログラム：オリエンテーションにも似ていますが、メンター・プログラムは経験豊富なライオンと、指導者を目指す見習い会員とがペアになって行うものです。メンター・プログラムでは、さまざまな専門知識を次世代に伝えることで、将来の指導者を育成します。また、指導に当たるメンター・ライオンと見習いライオンとの関係は、励まし、成功のために支援し、ライオン同士の交流を豊かにします。

オリエンテーション及びメンター・プログラムについての資料は、国際本部のエクステンション及び会員部、または公式ウェブサイト(www.lionsclubs.org)から入手することが出来ます。

アワード：奉仕の喜びは、その活動に寄付が集まったという理由ではなく、情熱に基づいて行動しているという実感から得られるものです。慈善活動は、どんな金銭的な利益よりもはるかに価値のある報酬を与えてくれます。しかし、会員が自らの時間や才能を自主的に提供しているライオンズの場合、その功績が認められた時に、更に良い活動がもたらされることも事実です。

ライオンズクラブ国際協会では、たぐいまれな活動をしたライオンズやレオクラブ会員などをたたえるために、二百種類以上のアワードを用意しています。パンフレット「表彰の芸術」には、「ありがとう」という言葉から特別な表現に至るまで、クラブが感謝の気持ちを生活や文化に組み込む方法が紹介されています。承認、支持、称賛することで会

員の「飛躍への情熱」を増幅させる。この前向きな環境を育むことが、各ライオンズ・リーダーの責務なのです。

推進への情熱

ライオンズが、地域社会への奉仕活動に熱心であることは明らかです。年次アクティビティ報告書の集計によると、ライオンズは毎年、七億四百万？以上と七千万時間以上を奉仕活動のために捧げています。これは驚くべき数字であり、また非常に報道価値の高い功績でもあります。クラブ、地区、複合地区の活動を、情熱を持って地元の報道機関に伝えるのは大切なことです。テレビ、ラジオ、新聞など、さまざまな手段があります。ライオンズクラブの活動を広め、イメージを向上し、社会での認知度を高めるためには、報道機関を利用すること以上に優れた方法はありません。

国際平和ポスター・コンテスト：これは報道機関が関心を寄せる活動の一つです。クラブ、地区、複合地区、国際レベルで順次行われるこのコンテストには、毎年、世界中の三十五万人以上の子どもたちが参加します。ライオンズクラブ国際協会がスポンサーする行事の中で、最も成功を収めているこのコンテストへの参加を通じて、好意的な報道を受けたクラブは数え切れないほどあります。

インターネット：ライオンズの活動を促進する上で、しばしば見落とされがちな報道媒体はインターネットです。需要が高まるにつれ、ウェブ・マガジンやニュースレターの数は増え続けています。また、ニュースなどの情報をインターネットから得る人々の割合は、年々高くなっています。オンラインを利用する好機を模索し、活用してください。皆さんのクラブ、地区、複合地区は、ホームページを開設していますか。もしまだならば、それは自らのメッセージを伝える機会を見逃していることなのです。なぜなら近年ウェブサイトは、ライオンズ内部だけでなく外部とのコミュニケーションを図る上でも重要かつ効果的な方法だからです。

ライオンズのPR活動を促進させることを優先事項の一つとしてください。新会員を勧誘する上で、ライオニズムに対する一般認識を高めることほど良い方法はありません。

また、報道機関あるいは一般の人々に情報を伝えているかどうかにかかわらず、どこにいても私たち一人ひとりがライオンズを代表しているということを常に念頭に置くようにしてください。人々の模範となるような言動に心掛けることが重要です。

実践への情熱

視力ファースト：視力ファーストは、ライオンズのこれまでの活動において最も成功を収めている取り組みです。これまで

四百六十万人もの人々が白内障の手術を通して視力を回復し、二千万人が失明の危機を回避し、数億もの人々が利用する眼科ケア・サービスの向上が成されました。

一九九一～九四年に行われたキャンペーン視力ファーストを通して、ライオンズから寄せられた一億四千四百万?の献金のおかげで、世界八十カ国、六百九十八の事業に一億六千万?が交付されました。

キャンペーン視力ファーストⅡ：視力保護という私たちの重要な活動を継続するために、二度目の資金獲得活動となるキャンペーン視力ファーストⅡが開始されました。従来の視力ファーストの取り組みの継続と共に、失明原因の撲滅という新たな目的のために、ライオンズクラブ国際財団（ＬＣＩＦ）は次の三年間に一億五千万?を目標に資金を募ります。恵まれない人々に奉仕するという私たちの情熱が動機付けとなり、前回以上の結果を出すことが出来ると、私は確信しています。

視力ファーストは、ＬＣＩＦが行う活動のごく一部に過ぎません。このほかにも、ライオンズ・クエスト・プログラムを通じて青少年の健全な成長を手助けしたり、補聴器を購入する余裕のない人々に低価格で高品質な補聴器を提供したり、老人福祉センターを建設したり、職業訓練プログラムを支援することで障害者の自立に協力したり、天災などによる被災者支援として、救済・再建活動にも取り組んでいます。

視力ファーストへの献金者、メルビン・ジョーンズ・フェロー（ＭＪＦ）、献金会員の貢献に値する活動を、ＬＣＩＦの各種プログラムは行っています。

ライオンへの情熱

他者への奉仕は、確固とした努力と不屈の信念によってもたらされます。情熱あふれるライオンズとして、私たちは地域社会、そして奉仕される人々の立場になって活動する必要があります。つまり地域社会のニーズを理解し、彼らの期待以上の対応をすることが必要です。なぜならば、私たちの情熱の有無を判断するのは、近隣の人々や同僚、そして地域の人々なのです。

私たちの活動の成果は、結果からしか計り知ることは出来ません。クラブの会員数や優れた指導者が増えたり、アワードや表彰を受けたり、クラブがスポンサーする活動が興味深いものであったり、奉仕の対象が増えたりした時に、初めて自らの成功を確信することが出来るのです。

改善すべき点は常にあります。現在の栄誉にすがり、現状に満足しているのでは、ライオンズの使命を達成するために十分な情熱を燃やしているとは言えません。

ここ何年間か、ライオンズクラブ国際協会の特質とは何であるかということが盛んに話し合われています。私は、飛躍への情熱と、障害を乗り越える強い力を合わせたものが特質であると信じています。飛躍への情熱を持っていれば、私たちはその使命を達成することが出来るでしょう。

アリストテレスは、「振る舞いではなく、繰り返しの習慣によって人は飛躍する」と書き記しています。情熱と一貫性を持って、飛躍を目指して進んでください。タージ・マハルを構成する石のように、私たちが日々行っている活動が積み重なり、人類史に残る功績を生み出すことが出来るのです。

アショク・メータ新国際会長プロフィール

「痛みを感じるほどに、自分が傷つくほどに与え尽くす」

クラブを代表して地元の孤児院の支援を表明する若き日のメータ会長

ライオンズの紋章を継ぐ者の責務

「ライオンズクラブ国際協会は、世界で最も活動的な奉仕クラブ組織です。その信望を維持するためには、世界中の会員が情熱を持って指導力を発揮しなければなりません。それはライオンズの理念への情熱であり、地域社会と世界中の恵まれない人々に奉仕することへの情熱です。国際協会は高まる人類の要請にこたえるため、クラブと会員の増強によって自らの基礎を強化する必要に迫られています。私たちが直面するさまざまな課題の克服には、『ウィ・サーブ』という使命の達成に向けて、会員の一人ひとりが情熱を傾けて取り組む必要があるのです」

新たに就任したアショク・メータ国際会長は、あらゆる会員が満たすべき規準について、このように信念を表明している。彼はライオンズの会員、そして一人の人間として、数十年にわたり地域社会と恵まれない人々に奉仕し続けてきた。

二〇〇五・〇六年度のテーマ「飛躍への情熱」は、メータ国際会長のそうした経験に基づいている。彼は国際協会の最高責任者としてこの目標を追求しようと決意し、次のように宣言する。

「会員は情熱を傾けて、ライオンズの紋章が九十年近くにわたって体現してきた誇るべき理念を実行に移さなければなりません。国際協会に属する約百四十万人の会員がその決定的な必要性を認識出来るよう、私は今後の一年を捧げると約束します」

製鉄会社の管理職から首相の懐刀に

第八十八代国際会長アショク・メータは、インド西部グジャラート州の州都ラージコートに、五男一女の六人兄妹の末子として生まれた。彼の父親は名高い教育者で、一九四七年にインドが独立して以降、祖国の教育制度の確立に貢献した。長兄は繊維化学の専門家としてアメリカに暮らし、他の兄弟はそれぞれカルカッタの製茶事業主、公認会計士、整形外科医となった。彼の姉はニューデリーの市長を務め、インディラ・ガンディーが首相となってからは首都の発展に尽力した。

新国際会長は、ラージコートで初等・中等教育を受けてボンベイ（現ムンバイ）の学校に進み、公認会計士の兄のもとで会計士の資格を取得した。その後会計の分野には進まず、従業員数約一万人のムカンド製鉄で管理職に就く道を選ぶ。彼はこの会社で、商品開発やマーケティングなどの管理職を四十年間勤め上げた。義兄の紹介でインディラ・ガンディー首相に出会ったのは、この会社でニューデリーに転勤した時のことである。首相は若き日の会長の管理能力を高く評価し、彼はその後数々の政府諮問職を歴任することとなる。

タンザニアのニエレレ大統領がインドを訪問した時の出来事は、ガンディー首相がメータ会長に置いていた深い信頼を示している。大統領は首相と交わした会話の中で、自国に角膜移植の施設を設立し、専門家を

1979年、小児診療所の落成式に出席した村上薫国際副会長（中央右）とメータ会長（右から4人目）

養成したいという希望を表明した。

メータ会長は、この時のことを次のように述べている。

「ライオンズの力でこの事業を実現出来ないか、と尋ねるミセス・ガンディーに、私は難しいことだが不可能ではない、と答えました。すぐにボンベイのアイバンクと連絡を取ったところ、タンザニアに対する百の角膜提供が実現しました。その結果、四十八人の児童と、銃の暴発で失明した二人の兵士の角膜移植が成功したのです。この人道支援によって、インドとタンザニアの友好関係は大いに深まり、ミセス・ガンディーはとても感謝してくれました」

ソニア・ガンディーが会長をボンベイ知事に任命したことにより、ガンディー家との交流はその後も続いた。彼女は故ラジブ・ガンディーの妻であり、一九九五年度ライオンズクラブ国際協会人道主義大賞の受賞者でもある。会長によれば、知事の職務には、政府と奉仕団体の橋渡し的な役割が含まれている。知事として環境改善やボンベイ浄化運動に取り組んだ会長は、「当時ボンベイ地域には、二百五十のライオンズクラブがありました。私はその会員であったため、この種の取り組みはライオンズのイメージを大きく高めることにつながりました」と述べている。

職を退いた現在でも、メータ会長は職業上の優れた指導者としてのみならず、政府とボランティア分野の仲介者と目されている。

妻コキラは経済学部を卒業し、その後社会学の学位を修めて社会福祉士の道を歩んだ。彼女は会長と隣人同士であり、一九六〇年に求婚を受けるとまもなく結婚した。一人娘のシタールは現在服飾デザイナーとして、インドとアメリカを行き来している。

（上）メータ国際会長夫妻の結婚式で義父と共に
（下）メータ国際会長とコキラ夫人、長女のシタール

タンザニアの首都ダルエスサラームを訪問し、ムカパ大統領に記念品を贈呈するメータ会長（中央左）

ボンベイ知事として宣誓するメータ会長（右）

インドでは「目医者に行くならライオンズ」だった

メータ会長はクラブに入会する前の青年時代から、ライオンズの活動に親しんでいた。彼の説明によれば、当時のライオンズクラブは失明予防と密接にかかわる組織と見なされていた。休暇の時期になると、治療を必要とする貧しい男女や子どもたちがライオンズ・アイキャンプに殺到した。恵まれない人々の間でライオンズがこれほど有名であった理由を、メータ会長は次のように説明する。

「それは、ライオンズの事業が無料であり、個別に治療を提供し、白内障視力回復手術やその他の眼病治療の成功率が九九☒に達していたからです」

これらのキャンプは一カ所に留まることなく、チームは仕事を終えると直ちに別の場所へと移動した。

「治療を終えた患者の顔に浮かぶ感謝の表情を見た時、この組織に加われば自分にも何かが出来るに違いないと確信したのです」と、メータ会長は当時を振り返る。

インドのライオンズは眼科専門家のチームと共に、キャンプで毎年一万から二万件の手術を実現させていた。しかしメータ会長によれば、彼らの失明予防対策に一九九一年、転機が訪れた。「貧しい人々に視力の恵みをもたらすライオンズの活動には、この時期から専ら病院が使われるようになりました。した

がって、キャンプの必要がなくなったのです」と彼は言う。

「病院の使用によって、失明予防プログラムの有効性と専門性は明らかに高まりました。また、LCIFの援助交付金によって、医師や看護師、その他の医療関係者を訓練する学校が設立され、失明予防の分野におけるライオンズの生産性も劇的に向上したのです。その結果現在では、すべての手術が病院のみで行われるようになっています」

入会前からボランティア活動に開眼

未来の国際会長はライオンズに加わる以前から、他者への奉仕には重大な意義があると考えていた。ボンベイ郊外に暮らしていた青年時代、彼は大学時代の友人とレクリエーション・クラブを組織した。このクラブはサッカー、クリケット、ホッケーなどのスポーツを中心にさまざまな活動を行っており、彼らの活動は有効なレクリエーション施設の建設へとつながった。クラブの会員はまもなく地域社会奉仕に取り組むようになり、一九六三年には全員がムンバイ・シオン・ライオンズ（クラブ）のチャーター・メンバーとなった。人道的要請にこたえたいという彼らの意欲は次第に高まり、レクリエーション施設はやがてライオンズ・タラチャンド・バパ病院に進化を遂げた。病床数百五十のこの施設では、多くの職員が近隣の貧困地域の人々に奉仕している。

「それは、真にライオンズらしい事業計画でした」とメータ国際会長は言う。「この事業が行われたころ、インドでは慈善事業が普及していたわけではありません。しかし、仲間の会員はその実現を貫きました。なぜなら、私たちのレクリエーション施設は国内で最も貧しい地域の一つに存在していたからです。そこに暮らす二百万人余りの人々は治療を受けることが出来ず、絶望的な状況に置かれていました。私たちは試練を克服し、最も恵まれない人々に無料で医療を提供する病院が誕生したのです」

メータ会長は、インドのライオンズによる目覚ましい成果を指摘し、「私の任期中に、我が国のライオンズクラブは五十周年を迎えることになります」と誇らしげに語る。アメリカ・ペンシルベニア州のライオンズの貢献により、インド初のライオンズクラブとしてボンベイ・ホスト・ライオンズ（クラブ）が結成されたのは、一九五六年のことであった。インドは国際協会で最も急速にライオンズが拡大した国の一つであり、現在では五千クラブに十四万二千人余りの会員が所属している。

国際大会で高まったライオンズ熱

（ライオン）アショク・メータは自らのクラブで次第に頭角を現し、クラブ会長その他の役職を歴任した。彼の功績が認められないはずもなく、やがて地区ガバナーに立候補するよう要請される。彼は一九七九年に地区ガバナーに選ばれ、モントリオール国際大会にガバナー・エレクトとして出席した。この時の経験は、国際協会の方針が世界に及ぼす影響力をはっきりと理解させた。

「私は、さまざまな国々を代表し、多様な言語を話す会員たちと出会いました」と彼は振り返る。

「しかし最も重要なことは、そのすべてが真心と奉仕の言葉を話していたということです。私はまもなく、それが最も大切な言語であることに気づきました。このように考えた時、世界中の会員がたゆむことなく培ってきた友情と、それに基づく人道主義の全容を、私は完全に理解することが出来たのです。この国際大会で受けた印象はあまりにも大きかったため、それ以来大会への参加を一度も欠かしたことはありません」

このような体験を経て、彼は「ウィ・サーブ」の世界にますます深く足を踏み入れていく。

会員は真心と友情という神聖な言葉を話す

一九八六年、ニューオーリンズで国際理事に選ばれた時、ライオンズが世界で直面する課題ついて、会長は固い信念を抱くようになる。彼が代表していたのは、無数の言語や方言、さまざまな文化を持つ二十万人の会員が所属し、現在五十七カ国によって構成される国際協会最大の会則地域（インド・南アジア・アフリカ・中東）であった。

彼は理事会の席上、この会則地域

が大きく成長しているにもかかわらず、代表者が自分一人であるという事実を指摘した。彼の提言は認められ、現在ではこの地域から三人の理事が選出されている。

「私は理事としてこの地域の隅々まで訪ね歩き、諸国のさまざまな文化や、その国におけるライオンズの目標を認識することが出来ました」と彼は言う。「多様な住民の代表を務めることは、もちろん容易な仕事ではありません。しかし、モントリオール国際大会で、あらゆる会員は真心と友情という神聖な言語を話しているのだと、私は明確に理解するに至ったのです。LCIFは、人類の決定的な要請にこたえるライオンズの活動を支援しています。国際理事を務めた二年間には、会員にLCIFの重要性を説くという極めて有意義な任務に恵まれました」

自分が傷つくほどに与え尽くした視力ファースト

ライオンズを支援するLCIFの役割は、視力ファースト・プログラムによって更に強化された。特に一九九一年には、キャンペーン視力ファーストが開始され、メータ会長が国際委員を務めた。彼は一億二千万ドルという目標額に驚き、内心その達成は不可能と考えたことを認めている。

「しかし実際に獲得された資金は、一億四千四百万ドルに達していました。それは予防及び回復可能な失明の克服に向けて、世界中の会員が意志と情熱を傾けて取り組んだからにほかなりません。私はマザー・テレサが惜しみない支援について語った、『痛みを感じるまでに、自分が傷つくほどに与え尽くしてください』という言葉を思い出しました。キャンペーン視力ファーストの特徴は、ライオンズ自身から資金を集めるという点にありました。それ以前、私たちは常に外部に資金を求めていたのです。しかし、会員は正しい目的に対してはどこまでも惜しみなく私財を投げ打てるのだということを、このキャンペーンは立証するものとなりました。キャンペーン視力ファーストⅡに乗り出した今、ライオンズは失明と戦うための資金獲得に、これまで以上の成功を記録することになるでしょう」

ヒンドゥー寺院での会長夫妻（中央）とその友人たち

「初回のキャンペーンを通してインドで獲得された資金だけでも、私たちは三百万件を超える眼科手術を無料で行うことが出来ました」と彼は続ける。

「のみならず、我が国には視力関連の治療を行う百件の病院施設も設立されました。現在世界には三千七百万人の失明者が存在しますが、そのうちの千六百万人はインドの人々です。支援の必要性は計り知れません。キャンペーン視力ファーストⅡは失明の予防と回復に大きな進展をもたらすはずであり、インドを始め世界中の人々の視力が救われることになるでしょう」

失明防止のため企業との連携も視野に

メータ国際会長は更に、ライオンズは視力保護に献身する他の組織と協力して、二つの新しい課題に取り組まなければならないと考えている。ライオンズは、アフリカ及びラテン・アメリカにおける河川失明症とトラコーマの予防に取り組んできた。しかし今後は、糖尿病性網膜症と小児失明にも同等の精力を傾け、この分野で指導的な役割を高めていく必要がある。

「糖尿病は網膜症による失明をもたらすのみならず、高血圧疾患として世界の主要な死亡要因の一つとなっています。そのことを、人々は認識しなければなりません」

と彼は語る。

会長はまた、民間企業や業界団体などとの協力を進める必要があると考えている。ライオンズクラブ国際協会はジョンソン&ジョンソン社との提携を通して、マレーシア、中国、タイ、インドなどの多くの国々で小児失明対策を推進しているが、このような方法には彼の見解が反映されている。

「このプログラムは、眼鏡を買うことの出来ない家庭の子どもたちに視力検査を受けさせ、必要であれば眼鏡を提供しています。キャンペーン視力ファーストⅡによって獲得される資金は、糖尿病性網膜症と小児失明の克服に向けて、ライオンズの能力を高めるために役立つでしょう」

と、彼は説明している。

そして「人類と神への奉仕」という哲学へ

地区や国際的なレベルでのさまざまな経験は、二〇〇三年に複合地区の推薦を受け、第二副会長に立候補することを決意させる。彼は二年間国際理事を務め、インドで視力ファーストに取り組み、数々の国際大会やフォーラムに参加し、地区ガバナー・エレクト・セミナーではグループ・リーダーを務めている。したがって、コロラド州デンバーの第八十六回国際大会で副会長に選ばれる以前から、ライオンズの業務に深く精通していた。執行役員として自らの経験を生かす準備は、十分に整っていたのである。

「私には、ライオンズクラブ国際協会の将来に資することが出来るよう、情熱を持って国際協会を指導する義務があります。これまでの経験は、この重要な任務を果たすうえで役立つでしょう」と彼は言う。国際協会の伝統に対するこの情熱は、「人類と神への奉仕」という彼の哲学の核心を形成している。国際会長としての前途も、この情熱によって導かれることになるだろう。

彼の哲学は、タラチャンド・ババ病院の業務方針にも反映されている。この病院について、彼は次のように説明する。

「病院の業務は、ムンバイ地域やその近郊から外来患者が来院し始める朝六時に開始されます。患者はがん、腎臓病、心臓疾患など、主要な疾病の治療を求めて訪れます。私たちは、タンザニア、パキスタン、その他の国々からも乳児を中心とする患者を受け入れ、可能な限りの支援を提供しています。そこではイギリスやアメリカの病院でかかる費用のわずかな一部分で、手術や治療を行うことが出来るのです」

ライオンズの興廃は会員増強の成否にあり

メータ会長によれば、奉仕への情熱を示すためには、全力を傾けて国際協会の強化に取り組む必要がある。より多くの会員、特に若い会員を招請することが肝要である。「ライオンズクラブ国際協会が根付き始めたのは、第一次世界大戦が終結してからのことです。兵士たちはそれぞれの地域社会に貢献したいという願いを胸に、故郷に帰り着きました。地域社会や職業上の指導者として自己を実現するためには、ライオンズクラブへの入会は極めて有効です。若い世代にその事実を認識させることにより、当初のライオンズが抱いていた奉仕と友情への情熱を再生させなければなりません」と彼は力説する。

クラブと会員を増強することの決定的な重要性を考えれば、新国際会長の目標は一見ささやかなようにも感じられる。しかしそれが達成された時、国際協会の基礎はかつてないほど強化されるはずである。

グジャラート州の養護学校を訪れてあいさつするメータ会長

彼の目標は、各地区が少なくとも一つの新クラブを結成すること、各クラブが最低一人の会員純増を果たし、最終的に二十人以上の会員を確保することを求めている。

「それが達成された時の効果を考えてみてください。世界中のライオンズが人道的な使命を達成し、人類と神に奉仕する能力はどれほど高まることでしょう」

と、メータ国際会長は語る。

彼も認めている通り、この目標の達成は容易ではない。しかし、「ウィ・サーブ」という使命を果たすには、会員の一人ひとりがこの課題を引き受けなければならないだろう。メータ会長はクラブや地区のライオン・リーダーと語り合い、この目標の達成は可能であると判断している。また、本年度でなければ近い将来において、ライオンズクラブが二百の国及び地域に拡大するものと期待している。

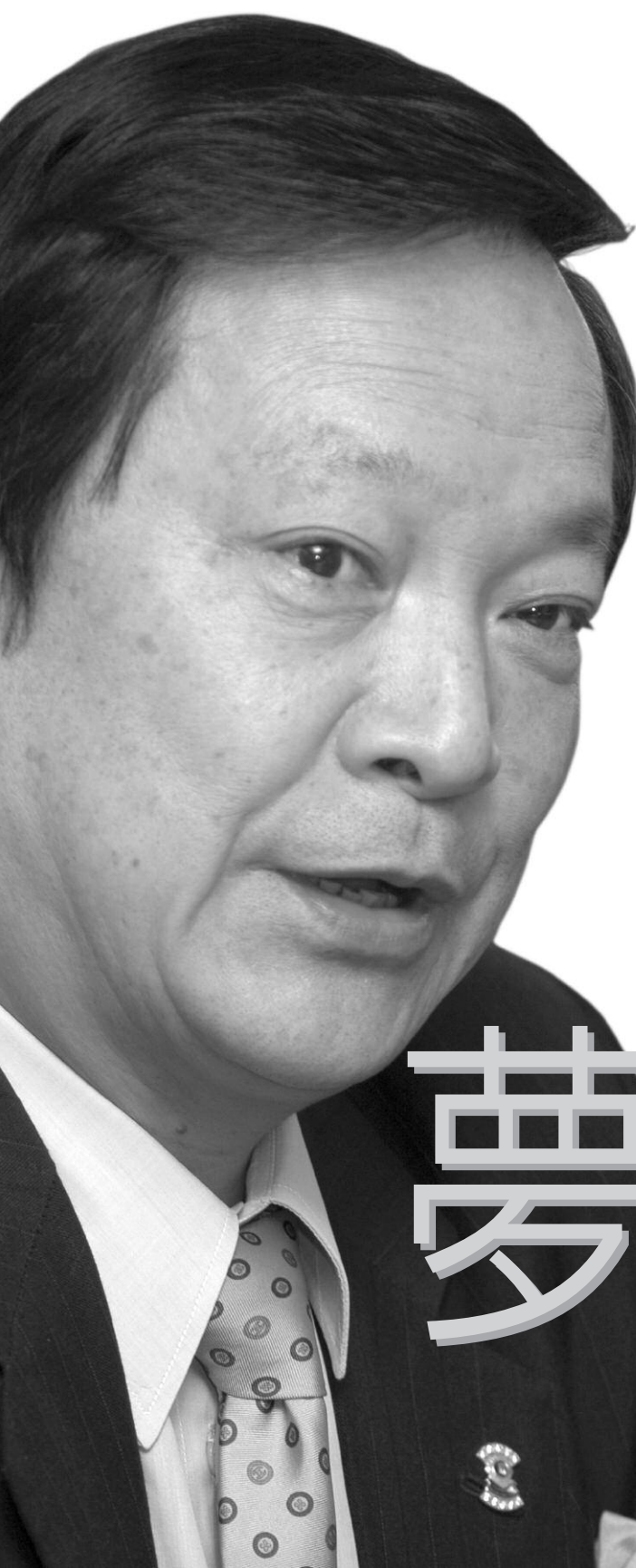
彼は国際会長としての一年を予測し、「偉大なる国際協会の最高責任者として奉仕する日々を、私は楽しみにしています。全世界の会員は人類の要請にこたえるため、一丸となって取り組んでくれることでしょ

挑戦

壁を壊し、新しい風を吹かせよう

――新国際理事大いに語る

七月一日、香港国際大会閉会式において、同日朝の投票により選ばれた七地域、十七人の二〇〇五～〇七年国際理事が紹介された。日本からは330複合地区の伏見龍国際理事と、334複合地区の山田實紘国際理事の二人が誕生した。

今後二年間、東洋・東南アジアのリーダーとして活躍が期待されるお二人に、ライオンズクラブの現状と将来展望を語って頂いた。歯に衣着せぬ発言で知られる両理事だけに、辛辣な意見も出たが、国際理事として、閉塞感漂う現状を打破したい、という強い思いが伝わってきた。

●話し手
伏見　龍
2005〜07年国際理事
神奈川県・横浜みなとマリン・ライオンズクラブ
山田實紘
2005〜07年国際理事
岐阜県・美濃加茂ライオンズクラブ

●聞き手
林　　孝
ライオン誌日本語版委員長
愛知県・名古屋名城ライオンズクラブ

夢

ライオンズを楽しむのはあなた自身

林　まず、お二人のバックグラウンドをお聞きしたいのですが、ライオンズクラブ入会のきっかけから、お願いいします。

伏見　私の場合は、所属していたある会の人間が中心となってライオンズクラブを作ることになり、私にも「龍さん、協力しろよ」と誘いがきたので、横浜みなとマリン・ライオンズクラブ結成に加わりました。「みなと」を意識して作ったクラブで、全国の同名クラブに呼び掛け、交流をしようということを、最初から考えていました。現在、全国に二十二の同名クラブがあり、毎年、持ち回りで交流を続けています。

山田　私は病院の院長がライオンズに入っていまして、ある時、皆さんが献腎運動に取り組んでいることを知りました。私の専門は脳神経外科なもんですから、脳死に立ち会うことがあるわけです。

伏見龍
国際理事

そこで、腎移植コーディネーターとして、お役に立てるのではないか、と活動を始めました。その結果、二十四人の方を助けることが出来たのですが、やがて、この運動を更に広げるためには、ライオンズに入って活動した方がいいだろうと思うようになり、ちょうど院長が地区ガバナーに就任した年に入会しました。

林　以前から、ある程度、ライオンズのことを知っておられたわけですが、実際に入ってみて、ギャップはありませんでしたか。

山田　それは、ありましたよ。ただ、いろんな意味で失望した面もあれば、逆に教えられた面も多々あります。入会した以上は、いろいろな活動をし、楽しんで、自分自身でモチベーションを上げていかないと意味がないですよ。

林　確かにそうですね。そういう意味で、お二人のライオン歴を改めて拝見すると、それぞれ特徴がありますね。山田さんは、お話にもあった献腎を始め、献眼・献血・骨髄移植のいわゆる四献運動、伏見さんはエクステンションの役職を多く経験されていますね。

伏見　自分から好んで、この役職をやらせてもらいました。商売でもそうですが、拡大していかないと、なかなか勝ち組にはなれませんね。ライオンズも同じです。

林　横浜みなとマリン・ライオンズクラブは日本で初めて海外エクステンションを成功させたクラブですね。

伏見　これも結成当初から目論んでいまして、当時のパラオ諸島（現ベラウ共和国）にクラブを作りたい、と活動を展開しました。結局、自分たちのクラブ結成から二年後の七八年に、パラオ・アイランズ・ライオンズクラブを誕生させることが出来ました。楽しかったですねえ。

日本ライオンズが抱える問題点

林　そういう話をお聞きすると、お二人ともまずまず、ご自分の関心のある活動をされ、ライオンズ活動としては充実した時を過ごして来られたようですね。

山田　自分自身はそうかもしれませんが、活動を続ける中で、ライオンズクラブという組織について、いろいろと無駄なものや、変化が必要なものが見えてくるようにもなりました。

林　具体的には、どの辺ですか。

山田　これは私の持論ですが、名誉顧問会やリジョン・チェアパーソンは不要だと思っています。

伏見　私もね、元地区ガバナーの一部が、現在のライオンズ停滞の要因を作っていると思っています。それと、ローテーションですね。これは変えなければいけない。

山田　ローテーションは確かに弊害がありますね。

伏見　私は今回、八複合地区、三十二準地区のうち二十六カ所の年次大会を回り、いろいろ話を聞いてき

山田實紘
国際理事

ました。ローテーションで先の先まで役員が決まっているところもありました。こんなことをしていたら、若い人が育ちませんよ。ローテーションが、ライオンズの活力を減退させていると言っても過言ではない。

山田　それと「必携」中心の運営にも問題があると思います。確かに『ライオンズ必携』にしろ、『役員必携』にしろ、大事なものです。が、あまりにも金科玉条のように扱うものだから、この「ねばならない」という考え方が、ストッパーになってしまっている。「必携」に縛られ、型にはめられ、がちがちになっているのではないか。

クラブというのは本来、もっと自由であるべきでしょう。そういう意味で、日本のライオンズの多くは、もう一枚も二枚も、脱皮しなくちゃいけない。そうすることで、それぞれ特徴を持ったクラブが出てくると思います。

伏見　ただ、日本人はしばられたがる面もあるんですね。それに、だんだん会員自身が横着になってている。私は「指示待ち症候群」だと言っているんです。ライオンズは今、他人任せに過ぎる。主体性がないんですよ。

日本を百地区に分割せよ

林　それを打破するためには、今、何が必要でしょうか。

山田　地区分割です。まずは単県化。それから四千人、五千人の地区は二つ、三つに分割して、千六百人程度で一つのキャビネットを持つべきです。

伏見　山田さんとは意見が分かれる部分も多いのですが、地区分割に関しては同意見なんです。うちの地区は約六千人の会員がいますが、それを聞いてケイ・K・フクシマ元国際会長は「クレイジー！」と、肩をすぼめていました。世界基準から言うと、日本の現状は異常なんです。

山田　日本国内の地区分割というのは、本来、国際理事がやることじゃないですけど、その辺から変えていかないといけないぐらい、今の日本のライオンズは目的がファジーになってしまっている。これじゃあ、若い人は入ってきませんよ。

伏見　古いもの、大きいものはいいという、日本人的感覚を変えなくては、この先、日本のライオンズはだめになります。確かに国際理事の出る幕じゃないと言われるでしょうが、これは本当に、かなり強力に推し進めていかないといけない問題だと思っています。

山田　地区分割で現在の三十三地区が百地区ぐらいになれば、若い人がどんどん活躍出来るようになりますよ。

伏見　ひいては若い地区ガバナーが誕生し、国際理事をやり、国際会長までいくことも可能でしょう。今のように、高齢の地区ガバナーが出てきては、国際会長なんて望めませ

んよ。

林　国際会長が出れば、ここ数年、急速に会員数を伸ばしている韓国のように、求心力が生まれ、モチベーションも高まるでしょうね。

伏見　実際、韓国の元国際理事などは「伏見さん、あと数年で、韓国は日本を追い抜くよ」と言っていますからね。

山田　でも、確かにそれぐらい勢いがありますね。日本も、ここらあたりで、きちんと態勢を整え直す必要があります。

夢と情熱──信念と挑戦──

林　今、お二人から期せずして国際理事の仕事ではないが、という言葉が出ましたが、国際理事としての抱負をお聞かせ願えますか。

山田　一般会員の素直な気持ちとして、今、日本の方たちが不満に思っていることの一つに、国際協会の意志決定が、アメリカ中心になっているという点があります。LCIFについても、そうですね。

もちろん、これは日本がLCIFに四〇㌫出しているんだから、四〇㌫の使い道を決めさせろ、という意味ではありません。私は、日本はアメリカのポチになるな、と言っているんですが、金も出すけど、口も出す。それも、情熱を持ったアイデア、夢のあるアイデアを出そうじゃないか、と言っています。

林　山田さんは国際理事立候補にあたり、マニフェストを掲げておられましたが、その中でも私はノーベル賞というのに興味を持ちました。

山田　私のマニフェストは「L＝Loyalty（忠誠心）、I＝Identity（主体性）、O＝Organization（団結力）、N＝Nobel prize（ノーベル賞）、S＝Service（国際貢献）」というもので、Nはノーベル平和賞をライオンズが獲得し、世界の会員がノーベル賞受賞者になろう、というものです。それぐらいの「夢」を持つことが、ライオンズには必要だと思っています。また、実現性が低いわけではなく、実は比較的近い位置にライオンズはいるのです。ぜひ、実現させ、閉塞感漂うライオンズに新鮮な空気を送り込みたいと思います。

もう一つ、国際本部の運営を見るのも、理事の仕事だと思っています。財務などもチェックし、刷新すべきところは、刷新していくつもりです。

山田實紘新国際理事プロフィール

所属クラブ：
岐阜県・美濃加茂ライオンズクラブ

生年月日：
1943年（昭和18年）12月23日（61歳）

現職：
特定医療法人厚生会木沢記念病院　理事長・病院長

主なライオン歴：

1985年	美濃加茂LC入会
1994-95年度	美濃加茂LC会長
1995-96年度	ゾーン・チェアパーソン
1996-97年度	334-B地区ガバナー
2002-03年度	日本ライオンズ連絡事務所管理委員
2003-04年度	日本ライオンズ連絡事務所管理委員
2004-05年度	日本ライオンズ連絡事務所管理委員

累進メルビン・ジョーンズ・フェロー

伏見龍新国際理事プロフィール

所属クラブ：
神奈川県・横浜みなとマリン・ライオンズクラブ

生年月日：
1937年（昭和12年）7月20日（68歳）

現職：
国際警備㈱代表取締役会長、国際警備グループ会長

主なライオン歴：

1976年	横浜みなとマリンLC入会
1980-81年度	横浜みなとマリンLC会長
1981-82年度	ゾーン・チェアパーソン
1995-96年度	リジョン・チェアパーソン
1996-97年度	330-B地区エクステンション委員長
2002-03年度	330-B地区ガバナー
2003-04年度	330複合地区会員・エクステンション委員長
2004-05年度	ライオン誌日本語版事務所監査委員

累進メルビン・ジョーンズ・フェロー

また、インターナショナルという点から言えば、国際本部がアメリカになくたっていいわけです。日本にあってもいいし、ヨーロッパにあってもいい。

伏見　そう。山田さんのおっしゃる通り。国際本部の運営に関しては、決して事務局任せにせず、我々がきちんと見るべきですよ。これはクラブでも、地区でも同じことです。

と同時に、私は根幹に多数決の原理があると思っています。国際協会は何だかんだ言っても、システム的に、アメリカ中心に出来ている。国際理事会にしても、結局は数の論理でアメリカの意見が通る。その解決策をたどっていくと、元に戻ってしまいますが、日本が地区分割をして百人のガバナーを出し、国際協会にきちんと物が言えるリーダーを作り出すことです。そして、ガバナーが、強い「信念」を持って活動出来るシステムを構築すべきです。

林　やはり、日本の地区分割に行き着きますか。

伏見　これは避けては通れないですね。必ず実施しなければいけない関門です。

それと私は、ガバナーの時、既成概念にとらわれない運営、活動を目指してほしい、と訴えました。チャレンジというのは非常に重要なことです。最初は真似でもいいし、多少突飛なことでもいいんです。

林　伏見さんは確か、宮本武蔵を崇敬されていると、お聞きしたことがありますね。

伏見　私は武道をやっているものですから、その道を極めた人物として尊敬しているという面ももちろんありますが、その深い人間性にもひかれます。

宮本武蔵の『五輪書』に「守破離」という言葉が出てきます。最初は教えを守り、次に自分なりの発展を試み、最後は型を離れ独自の世界を切り開くという意味ですが、ライオンズにも、当てはまると思うんです。また、二刀流の原理というもの、これには右手がだめなら左手で、という臨機応変のアイデアという側面もあるわけです。新しいものに挑戦していく、積極的に採り入れていく、そういうチャレンジ精神にも敬服しています。

林　今後二年間、いろいろとご苦労があるかと思いますが、伏見さんのチャレンジ精神と山田さんの情熱で、国際協会がいい方向に動くことを期待しています。

直言型のお二人への期待

林　孝（ライオン誌日本語版委員長）

伏見さんが強烈な信念に裏打ちされたリーダーシップで、ぐいぐい周囲を引っ張っていくタイプであれば、山田さんは夢のあるアイデアで、会員に情熱を持たせてモチベーションを高めていくタイプのように見受けられた。

が、性格や手法は違っても、ライオンズクラブ、特に日本のライオンズに対する強い意志や情熱には、相通ずるものがある。既成概念にとらわれない自由な発想により、現状を打破し、ライオンズの将来を明るいものに変えていこうという共通の思いも感じられた。

また、お二人とも、歯に衣着せず、ずばり思ったことを口にされる直言型の理事として、日本の、そして東洋・東南アジアの意見を、国際舞台ではっきりと述べてくれるだろうと期待される。

お二人が意見を同じくする、組織の見直しや、地区分割により ガバナー数を増やし、若いリーダーを育てていこうという考えは、私も大いに共感出来る。確かに聞きようによっては辛辣な意見としてとらえられたり、人によってはきつい論調と思えるものもあろう。が、それらも正論には違いないので、私ばかりでなく、共感を得る部分が多いに違いない。

今後、石橋幹雄理事を始め、タイのソムサクディ・ロビサス理事、韓国のキージュン・ウー理事ら二年目理事とも協力して、アジアにおけるライオニズムの発展のため指導力を発揮して頂きたい。

2005-06年度
複合地区ガバナー協議会議長紹介

今年度議長に就任された8人の、抱負、方針、重点課題などを紹介する。
なお、略歴は所属クラブ、ライオンズ入会年、主なライオン歴、職業、年齢の順。

330複合地区議長　宮田　謙一

みやた　けんいち：神奈川県・川崎多摩川ライオンズクラブ。一九八五年入会。九三年度キャビネット会計。九四年度クラブ会長。二〇〇一年度複合地区運営委員長。〇二年度ＲＣ。〇四年度ＤＧ。累進ＭＪＦ。㈱宮田材木店代表取締役。71歳。

第五十一回330複合地区年次大会において、複合地区ガバナー協議会議長に推挙頂き、就任致しました。浅学非才ではございますが、皆様のご協力を賜りながら、330複合地区議長として、また八複合地区議長連絡会議副世話人と致しましても、全力を傾注する所存であります。

本年度既にスタートを切っているＣＳＦⅡを始め、十月の仙台フォーラムの開催、香港国際大会において当330複合地区から待望久しい国際理事に就任されたＬ伏見龍への支援拡大など、課題の多い一年となりますが、私のテーマ「努力なくして成功なし」の下、A、B、C地区が一丸となって努力し、課題を達成したいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

332複合地区議長　高橋　義太郎

たかはし　よしたろう：岩手県・藤沢岩手ライオンズクラブ。一九七五年ＣＭ。八六年度クラブ会長。九四年度ＺＣ。九六年度ＲＣ。二〇〇二年度ＤＧ。〇四年度ライオン誌日本語版編集長。累進ＭＪＦ。㈱橘石材店代表取締役。53歳。

332複合地区の最重点目標は、十月七日から開催される仙台フォーラムの成功である。台湾フォーラム・ステアリング委員会での決定以来一年数カ月、着々と準備を進めてきた。会合も百三十回を超えた。従来の形にとらわれない日本らしさ、東北らしさを出そうと努力している。川口順子前外務大臣、ハバナナンダ元国際会長をお迎えしての公開シンポジウムは、ライオンズの活動を知ってもらうために、一般市民にも参加を募り、意見をパネル・ディスカッションに反映させる予定である。また、公式セミナー以外にもＩＴ、シニア、レディースなど五つのミニ・フォーラムが開催され、参加は自由で、意見を発表出来る。ぜひ参加して、有意義なフォーラムにして頂きたい。

331複合地区議長　山崎　博信

やまざき　ひろのぶ：北海道・名寄中央ライオンズクラブ。一九七九年入会。八五年度クラブ会長。八八年度キャビネット副幹事。九三年度ＲＣ。二〇〇四年度ＤＧ。累進ＭＪＦ。宗教法人光名寺住職、学校法人光名幼稚園園長。72歳。

複合地区会則及び付則を守ることを骨子に運営を進め、複合地区発展のための責任を果たしたい。テーサップ・リー元国際会長が掲げた「改革」、クジアク前国際会長の「成功を分かち合おう」、そしてアショク・メータ新国際会長の「飛躍への情熱」という言葉は、いずれもプラス志向、進歩を目指します。地区ガバナーとしての任務を終え、まだ温もりの残る経験の一部始終、特に失敗経験を現ガバナーに披瀝すると共に、八複合地区議長との情報交流の成果を活用し、331複合地区が奉仕・発展・指導・推進そして実践を情熱を持って進め、ライニズムに北海道らしさを、と思っています。全国の皆様の独創的なアイデアを募集します。合掌九拝。

333複合地区議長　高田　一男

たかだ　かずお：栃木ライオンズクラブ。一九八〇年入会。八八年度クラブ会長。九三年度ＺＣ。九七年度ＲＣ。二〇〇三年度ＤＧ。〇四年度複合地区ＬＣＩＦ委員長。累進ＭＪＦ。医療法人高田産婦人科医院理事長・院長。70歳。

今年度から333複合地区は、新潟県と群馬県とが分割され、四地区の新たな構成となりました。その初代議長にご推挙頂き、たいへん光栄に存じます。ガバナー協議会は年次大会を別にすれば、複合地区の最高の決議機関であり、A、B、C、D、四人のＤＧとの緊密な連携を取り、意志の疎通を図って、国際協会の方針、目的を推進し、準地区間の更なる調和と一層の団結に寄与して参りたいと思っております。また、五月二十四日の次期協議会議長連絡会議において世話人に選出されました。その責任の重さを厳粛に受け止め、国際理事並びに各複合地区議長の助言、ご協力を賜りながら、日本ライオンズの更なる発展のため、ライオニズムの高揚のために全力を尽くして精進して参ります。

経歴及び本文中で使用している略語は下記の通り。
CM＝チャーター・メンバー
CSFII＝キャンペーン視力ファーストII
DG＝地区ガバナー
EXT＝エクステンション
MJF＝メルビン・ジョーンズ・フェロー
RC＝リジョン・チェアパーソン
YE＝青少年交換
ZC＝ゾーン・チェアパーソン

334複合地区議長　松岡　忠男

まつおか　ただお：岐阜県・中津川ライオンズクラブ。一九八八年入会。二〇〇一年度クラブ会長。〇二年度ZC。〇三年度DG。累進MJF。社会福祉法人敬愛会役員、⊠阿木レイクサイド役員。74歳。

334複合地区スローガンは、「みんなで守ろう青い地球」。今、地球規模で環境保護が叫ばれています。京都議定書も発効しましたが、残念ながら二酸化炭素最大の排出国であるアメリカが批准しておりません。人類は利便性をどん欲に追求するあまり、自らの生きる地球環境をも危うくし、人類の未来が憂慮されております。また、循環型社会の構築は、物を大切にする日本人本来の心であります。自らの生活を見直し、世界に向け地球の保護を訴えたいと思います。

運営方針：一般会員から目に見える活動。準地区ごとの各セミナー。次期三役セミナー。委員会の活性化。四献、LCIF、その他小冊子の発行。

335複合地区議長　松田　毅

まつだ　たけし：兵庫県・尼崎武庫ライオンズクラブ。一九八〇年CM。九一年度クラブ会長。九八年度ZC。二〇〇一年度RC。〇三年度DG。〇四年度複合地区指導力育成委員長。累進MJF。松田建設代表者。65歳。

地区ガバナーを終えて一年が経過しており少し当惑もありますが、ガバナー時代の経験や当時の議長に伺った話を思い出し、一年間335複合地区及び日本ライオンズの発展と融和のためにがんばっていきたいと考えております。今、ライオンズを取り巻く環境は会員数の減少や高齢化、そして新しい考え方の下に誕生しているクラブなど、かつてない運営の多様化が求められております。難しい問題も多いと思われますが、奉仕活動の基本は、単一クラブのアクティビティであるという原点をしっかりと見つめた上で、複合地区や日本レベルでの奉仕活動との協調を図り、クラブとの間に大きな違和感が起きないよう、無理のない施策を考えていきたいと思います。ご協力をお願い申し上げます。

336複合地区議長　松本　勤

まつもと　つとむ：徳島西ライオンズクラブ。一九八一年入会。九五年度クラブ会長。九七年度ZC。二〇〇二年度地区青少年・レオ・LCIF委員長。〇四年度DG。累進MJF。⊠松本正義商店代表取締役。73歳。

先輩議長の方々の築いてこられた伝統を引き継ぎ、国際協会の方針に従い、複合地区及び各地区との融和と協調を促進し、各クラブの発展に資することの出来る施策を講じていきたいと思っております。ライオンズクラブ改革への課題は少なくありませんが、足元を見つめて、地道に取り組んでいく決意であります。私はライオンズの原点は「世のため人のために尽くすこと。そして素敵なライオンとの出会い。並びに、クラブの運営・活動の中で自己を磨き、自己を高めること」であると、理解しております。この原点をよく見つめて諸改革に取り組まねばなりません。複合地区・準地区・各クラブの更なるライオニズム高揚を図るため、皆様方のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

337複合地区議長　馬場　馨

ばば　かおる：長崎みなとライオンズクラブ。一九七三年入会。八九年度クラブ会長。九三年度ZC。二〇〇一年度RC、複合地区大会実行委員長。〇四年度DG。累進MJF。⊠馬場家具、⊠馬場主研、⊠馬場総業。72歳。

私は「調和と躍進」をテーマに、A、B、C、D、の各地区ガバナーの皆様と奉仕の責務を共有し、皆様の良きパートナーとして、働きやすい、楽しい環境作りに専念致します。

今、ライオンズは急速な時代の流れの中でどう対処すべきか、視点を一歩掘り下げて対処して参りたいと思います。

一年間、微力ではありますが、メンバー同士、またガバナー協議会事務局、準地区、クラブ間の信頼関係をより強固にし、ライオンズの意識高揚に努めます。

そして的確な情報収集と情報の共有に専念し、337複合地区の更なる発展を目指します。

関係各位のご協力とご支援をお願い申し上げます。

二〇〇五年人道主義大賞は眼科医のパッツ医学博士

七月一日、香港コロシアムで開かれた第八十八回国際大会閉会式で、二〇〇五年ライオンズ人道主義大賞が発表された。受賞者は眼科医のアーナル・パッツ医学博士で、LCIFは賞金二十万㌦を贈呈。授賞式を予定していたが、博士は緊急の事情で欠席された。パッツ博士は三十二歳の時、未熟児に高濃度酸素を供給する治療法が失明につながるという発見で、アメリカ医学界で最も栄誉あるアルバート・ラスカー医療研究賞を受賞。ヘレン・ケラー氏から同賞を贈呈された。また、糖尿病性網膜症と加齢黄斑変性症の治療用アルゴン・レーザーを開発。現在も指導者として医療教育に従事している。

日本の国際理事会メンバーと所属委員会

香港国際大会終了後の七月二日に開かれた国際理事会で委員会構成が発表された。二年理事の石橋幹雄国際理事が地区及びクラブ・サービス委員会の委員長に就任し、一年理事の伏見龍国際理事がPR委員会に、山田實紘理事が長期計画委員会と大会委員会に所属。また、日本から栢森新治元地区ガバナー（334‐A地区）が国際理事会アポインティーに指名され、LCIF執行委員会と奉仕事業委員会に配属された。

ライオンズのアカデミー賞で年間最優秀ライオンに輝いたライオン Qing-Feng Chen

ライオンズのアカデミー賞受賞者発表

七月一日、香港コンベンション&エキシビション・センターで開催されたライオンズのアカデミー賞晩餐会で、十一部門と特別賞の受賞者が発表された。

〈アメリカ及びその周辺、バミューダ及びバハマ諸島地域の年間最優秀クラブ賞〉
Shelby Township LC（アメリカ・ミシガン州）／受賞者 Patrick Boshers 会長

〈カナダ地域の年間最優秀クラブ賞〉
Beaver Valley LC／受賞者 Bernard McMahon 会長

〈南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ及びカリブ海諸島地域の年間最優秀クラブ賞〉
San Pedro LC（ベリーズ）／受賞者 Nita Marin 会長

〈ヨーロッパ地域の年間最優秀クラブ賞〉

Bursa Karagoz New Century ＬＣ（トルコ）／受賞者 Serhan Sencayir 会長

〈東洋・東南アジア地域の年間最優秀クラブ賞〉
China Shenzhen Ba Gua Ling ＬＣ（中国・深圳）／受賞者 Yi Zhou 会長

〈インド、南アジア、アフリカ及び中東地域の年間最優秀クラブ賞〉
Chandigarh Central ＬＣ（インド）／受賞者 Sanjay Sardana 会長

〈オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島地域の年間最優秀クラブ賞〉
Jakarta Kota Raya New Century ＬＣ（インドネシア）／受賞者 Jonathan F. Muljadi 会長

〈年間最優秀地区〉
330‐Ａ地区（日本）／受賞者　山浦晟暉地区ガバナー

〈最優秀ライオンズ奉仕事業〉
Koothanallur Town ＬＣ（インド）／受賞者 Dr. G. Karthikeyan

〈ベストレオ奉仕プロジェクト〉
Bursa レオクラブ（トルコ）／受賞者 Serhan Sencayir レオクラブ委員長

〈年間最優秀ライオン〉
受賞者 Qing-Feng Chen（China Shenzhen Xiang Mi Hu ＬＣ／中国・深圳）

〈ＬＣＩＦ理事長賞〉
ブライアン・スティーブンソン元国際会長

〈ライオンズクラブ国際会長賞〉
オースティン・Ｐ・ジェニングス元国際会長

二〇〇五年国際コンテスト結果

香港国際大会で各種国際コンテストの結果が発表され、日本からは友好バナーのクラブ部門で愛知県・名古屋みなとライオンズ(クラブ)が一位を獲得したほか、ウェブサイトの地区部門で335‐B地区（大阪府、和歌山県）が佳作に選ばれた。各コンテスト第一位は左記の通り（全結果は公式ウェブサイトのオンライン国際大会参照）。

友好バナー＝クラブ：愛知県・名古屋みなと（日本）／地区：104‐Ｊ地区（ノルウェー）

会報＝クラブ：Romorantin-Sologne ＬＣ（フランス）／地区：108‐Ａ1、Ａ2、Ａ3地区（イタリア）

写真＝会員：K.N. Mohanarajah (Colombo Mid Town ＬＣ／スリランカ）／レオクラブ：Kaslik Leader レオクラブ（レバノン）／クラブ：Jounieh Kaslik and Ainsaade Sunrise ＬＣ（レバノン）／地区：204地区（グアム）

ＰＲアイデア＝William Taubman (Shell Lake ＬＣ／アメリカ・ウィスコンシン州）／クラブ：Bursa Yesil（トルコ）

交換ピン＝クラブ：Clarksville ＬＣ（アメリカ・アイオワ州）／地区：50地区（アメリカ・ハワイ州）／複合地区：24‐Ｄ地区（アメリカ・バージニア州）

ウェブサイト＝クラブ：Haverhill（アメリカ・マサチューセッツ州）／地区：Ｂ‐５地区（メキシコ）／複合地区：４複合地区（アメリカ・カリフォルニア州、ネバダ州）

インターナショナル・パレード・コンテスト結果

六月二十八日午後六時にスタートしたインターナショナル・パレードには世界百七十七カ国、約九千人のライオンズや家族が参加した。

スリランカの行進隊

パレード・コンテスト委員会による審査の結果、各部門の第一位は左記の通り（全結果は公式ウェブサイト参照）。

▼第一部：バンド
☒＝303地区（中

▼26ページに続く

▼25ページから続く

国・香港／マカオ）／バンド☒＝30複合地区（アメリカ・ミシシッピ州）／均整行進隊＝306複合地区（スリランカ）／ユニフォーム＝306複合地区（スリランカ）▼第二部：バンド＝201複合地区（オーストラリア、ノーフォーク島、パプア・ニューギニア）／均整行進隊＝4複合地区（アメリカ・カリフォルニア州、ネバダ州）。

MJF昼食会で表彰

400☒MJFクラブの表彰を受けた京都御室ライオンズクラブ

六月三十日、香港コンベンション＆エキシビション・センターでＭＪＦ昼食会が開催され、テーサップ・リーＬＣＩＦ理事長による表彰が行われた。日本から一〇〇☒ＭＪＦクラブ六クラブ（東京王仁、札幌グリーン、京都洛翠、京都ときわ、宮崎レインボー、熊本みどり）と、二回目の一〇〇☒を達成した二〇〇☒ＭＪＦクラブ（四日市みたき）、四回目の一〇〇☒達成の四〇〇☒ＭＪＦクラブ（京都御室）が表彰され、リー理事長が記念の盾を贈呈。更に山田實紘、栢森新治の両元地区ガバナーにヒューマニタリアン・パートナーズのブロンズ・ピンが贈られた。

六月十三日、千葉市・市民文化会館で333－Ｃ地区ライオンズ世界女性シンポジウム二〇〇五が開催され、約二百人が参加した。世界女性シンポジウムは、女性会員の増強と新たな奉仕分野の開拓を目的に、国際協会が開催を推奨している。女性の関心が高いテーマを取り上げ、広く地域の女性の参加を呼び掛けようというもの。同地区では「女性の健康　心とからだ」をテーマに、第一部で中国の食（瀧満里子講師）とドメスティック・バイオレンス（ＮＰＯ柏ふくろう会／細谷久子講師）に関する講演、第二部で地区女性会員企画委員によるパネル・ディスカッションを行った。「この素晴らしいライオンズクラブに、ぜひ参加してみませんか」という植村力子委員長の言葉に、早速三人の入会希望者があった。林護地区ガバナーは「多方面で女性の活躍が目覚ましい時代に、ライオンズでも多くの女性の参加を強く望んでいる」と呼び掛けた。

国際理事会で承認された日本へのLCIF交付金

国際大会に先立って香港で開かれた国際理事会で承認を受けた日本へのＬＣＩＦ交付金（五件総額二十三万？）は以下の通り。▼330－Ａ地区＝フィリピンのシングル・マザー用デイケア・センター五万？▼337－Ｃ地区＝ネパールで学校建設一万五千？▼337－Ａ地区＝玄海島地震の小学校復興七万五千？▼330－Ａ地区＝中国北西部で学校建設一万五千？▼330－Ｃ地区＝イラクで孤児院建設七万五千？？

ライオンズの支援事業が愛知万博で貢献

現在開催中の愛・地球博（愛知万博）の会場で、自動式体外除細動器（ＡＥＤ）が人命救助に大活躍している。六月一日、四十歳代の男性が会場内で突然倒れ心停止状態になったが、近くにいた医大生の女性らが備え付けのＡＥＤを装着すると呼吸と心拍を取り戻し、駆けつけた

救急隊員によって病院に運ばれた。この二日前にも、六十歳代の男性が会場内に置かれたＡＥＤによって救命処置を受けた。愛知万博の会場内に設置されているＡＥＤは約百台。日本ライオンズは愛知万博支援事業の一環としてＡＥＤ七十台を寄贈した。ＡＥＤは心臓に電気ショックを与えることで正常な拍動に戻す器械で、迅速な救命行為が可能にする。昨年七月には従来は医療関係者などだけに認められていたＡＥＤの使用が、一般市民でも可能になった。

国際協会が優れた会員増強法を募集

国際協会は会員増強における成功案を募集している。「新会員招請／勧誘」「会員維持／活動参画」のいずれかの分野で成功を収めた事例を持つクラブは、その詳細と、アイデアを採用する前と後の会員数を提出されたい。優れたアイデアには各会則地域ごとに五十の入賞クラブにアワードが贈られ、国際協会の組織強化に役立てられる。締切は十月三十一日。応募用紙及び規則はライオン誌事務所にある。

会議録 6月

主な議題だけをまとめました

複合地区IT委員長連絡会議

第四回複合地区IT委員長連絡会議議事要録は六月十三日、東京・日本橋の日本ライオンズ連絡事務所で開催され、①WMMR経過報告、②次年度への引き継ぎ事項、③IT専門部会と専門委員について協議した。

①は☒A・1書式、☒WMMR問い合わせ状況。

②は☒WMMR、☒八複合地区ホームページ、☒ライオン誌あてオンライン報告書（ServannA）のサポート、☒IT化のサポート。

③は☒専門委員の職責の内容、☒IT専門委員の特殊性と継続性、☒IT委員長、IT専門部会に対する周知。

ライオン誌日本語版委員会

第十二回ライオン誌日本語版委員会は六月二十日、東京・築地のライオン誌日本語版事務所で開催され、①二〇〇四・〇五年度ライオン誌日本語版委員会年次報告（案）、②二〇〇五・〇六年度ライオン誌日本語版事務所予算（案）、③七月号（六月二十日発行／十二万八千二百部）出来、④八月号以降台割と主要記事、⑤国際協会公式ウェブサイト日本語版更新状況、⑥ベスト・エッセー賞及びアクティビティ写真賞の審査、⑦地区／ライオン誌オンライン報告ServannA、⑧広告掲載基準、⑨その他について協議した。

④は八月号は国際プログラム、新国際会長プロフィール、伏見龍、山田實紘両新国際理事紹介、香港大会特集などを掲載。また、同号掲載の「ピックアップ／明日のライオンズを考える」と同じテーマのミニ・フォーラムを仙台フォーラムで開催することとし、誌面を通じて事前に意見を募集する。

新結成／解散／クラブ名称変更

■新結成クラブ

香川県・高松北▼結成順位／三五九九▼四月十六日結成▼長尾茂弘会長▼事務局／高松市中野町三一・一九（〒760・0008）TEL○八七・八三六・九三六六▼スポンサー／高松西

千葉県・銚子ローヤル▼結成順位／三六〇〇▼五月十九日結成▼榊利衛会長▼事務局／銚子市小浜町一七三四・五（〒228・0821）TEL○四七九・二三・八二〇三▼スポンサー／銚子ウエストポート

東京東村山中央▼結成順位／三六〇一▼五月二十二日結成▼有馬慎二会長▼事務局／東村山市栄町二・二七・五　砂川ビル五階（〒189・0013）TEL○四二・三九四・七五二九▼スポンサー／東京東村山

東京法政▼結成順位／三六〇二▼五月二十六日結成▼大石勝康会長▼事務局／中野区東中野一・三一・一〇　☒テイ・ケイ・アール内（〒164・0003）TEL○三・五三三一・七八六六▼スポンサー／330・A地区キャビネット

和歌山県・紀の川サンビューティ▼結成順位／三六〇三▼六月三日結成▼仲谷妙子会長▼事務局／那賀郡打田町窪五九八（〒649・6415）TEL○七三六・七七・〇六九〇▼スポンサー／那賀

福岡城南▼結成順位／三六〇四▼六月十五日結成▼武田正勝会長▼事務局／福岡市中央区天神三・一五・一七（〒810・0001）TEL○九二・七四一・一二三一▼スポンサー／福岡リバティ

千葉県・松戸みどり▼結成順位／三六〇五▼六月十七日結成▼望月典子会長▼事務局／柏市高田一四一二（〒277・0861）TEL○四・七一四三・二二四五▼スポンサー／松戸グリーン

埼玉県・熊谷セイフティ▼結成順位／三六〇六▼六月十九日結成▼伊東綾子会長▼事務局／熊谷市本町一・二二四（〒360・0042）TEL○四八・五二一・四八七八▼スポンサー／大宮グリーン

熊本県・肥後黎明▼結成順位／三六〇七▼六月二十六日結成▼渡辺秀明会長▼事務局／熊本市島崎一・九・二八　魚住ビル一階（〒860・0073）TEL○九六・三一二・六三〇四▼スポンサー／熊本火の国

■解散クラブ

東京東村山／神奈川県・川崎リバーサイド／北海道・根室はまなす／福島県・浅川／福島県・古殿／福島県・鮫川／群馬県・伊勢崎巴／愛知県・一宮尾北／愛知県・東栄／岐阜県・飛弾大野／岐阜県・板取スイス村／富山県・大沢野／富山県・細入／京都山階／岡山さくら／大分県・大山（以上十六クラブ、六月国際理事会で承認）／愛媛県・越智郡いつき（二〇〇四年十月国際理事会で承認）

■クラブ名称変更

●兵庫県・神戸兵庫→神戸兵庫シティ

●沖縄県・宜野湾→沖縄キートン

●岩手県・北岩手→二戸

●鹿児島県・栗野→湧水

訃報

ウイリアム・L・ウーラード（アメリカ・ノースカロライナ州シャーロット）

一九八九年にフロリダ州マイアミで開かれた国際大会で八九・九〇年度国際会長に就任した。一九六三年にシャーロット・セントラル・ライオンズに入会。終身会員。

ラルフ・N・ヘルム（アメリカ・デラウェア州ホクシン）一九七七〜七九年国際理事。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数集計

（2005年5月31日　各地区キャビネット事務局集計）

世界のライオンズ

2005.4.30.国際協会集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
ライオンズ国または領域　193	45,829	1,350,805	△15,056

日本のライオンズ

2005.5.31. 各キャビネット事務局集計	■クラブ数	■会員数	期首からの増減
330-A　東京	209	5,626	12
330-B　神奈川・山梨・東京	195	6,073	△ 14
330-C　埼玉	108	3,077	△ 6
330　計	512	14,776	△ 8
331-A　北海道（道央地区）	77	3,037	41
331-B　北海道（道北・道東地区）	101	3,380	△ 33
331-C　北海道（道南地区）	63	2,323	△ 18
331　計	241	8,740	△ 10
332-A　青森	68	2,280	△ 48
332-B　岩手	57	2,005	△ 2
332-C　宮城	85	1,958	32
332-D　福島	84	2,434	△ 21
332-E　山形	56	2,145	20
332-F　秋田	58	1,722	△ 24
332　計	408	12,544	△ 43
333-A　新潟・群馬	135	5,282	△ 138
333-B　茨城・栃木	140	4,533	24
333-C　千葉	126	3,667	77
333　計	401	13,482	△ 37
334-A　愛知	119	6,283	44
334-B　岐阜・三重	92	4,339	△ 53
334-C　静岡	84	3,675	6
334-D　富山・石川・福井	100	4,588	15
334-E　長野	55	2,567	23
334　計	450	21,452	35
335-A　兵庫東	115	3,383	△ 14
335-B　大阪・和歌山	201	7,719	103
335-C　滋賀・京都・奈良	124	5,007	96
335-D　兵庫西	69	2,618	△ 18
335　計	509	18,727	167
336-A　徳島・高知・香川・愛媛	155	6,839	35
336-B　鳥取・岡山	104	4,210	△ 35
336-C　広島	106	4,343	72
336-D　島根・山口	110	4,187	△ 34
336　計	475	19,579	38
337-A　福岡・長崎	118	5,289	43
337-B　大分・宮崎	94	3,216	△ 70
337-C　佐賀・長崎	82	3,355	84
337-D　熊本・鹿児島・沖縄	145	4,841	223
337　計	439	16,701	280
総計	3,435	126,001	422
世界のライオンズの	7.5%	9.3%	

国際理事だより

■国際理事
石橋　幹雄
（北海道・小樽グリーン）

日本から理事とアポインティーの計4人が国際理事会入り

六月二十日、香港に入りました。国際理事会が始まります。年度最後の会議のためか審議事項も少なく、会議は早めに終わりました。理事会の中心的役割を担っていた二年理事の方々、国際会長職を務め上げたクジアク会長、次年度に向けて意気盛んなアショク・メータ第一副会長の人間模様を見ているかのような会議でした。

私はメータ次期会長に呼ばれ、次年度の地区及びクラブ・サービス委員会委員長職を要請されました。はたして私に委員長が務まるかと大きな不安がよぎりました。しかし、お断りすることは協会に対する不遜であると同時に、私を支えてくださっている会員の皆さんに無礼だと考えました。第一回目の理事会が始まるまで他言は許されず、いろいろな思いがありました。

ノミネート委員会に出席しますと、米島忍元国際理事と一緒に伏見龍・山田實紘両国際理事候補が和やかに座っておられました。お茶を飲む時間を作り、ご一緒しました。理事候補のお二人は、一年前の私と比べ意気盛んです。

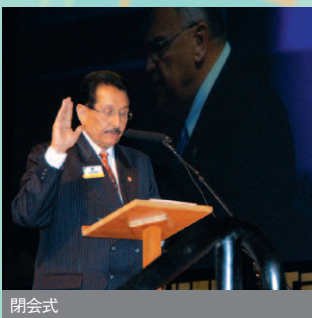
理事会が終わり、国際大会に入ったらスケジュールも少しは楽になるかと思っていましたが、相変わらずたいへんでした。最終日にプライベートな昼食会があって、同じ一年理事たちと一年間を振り返り、次年度に向けて抱負を語り合いました。既に次のポストを知っているはずですが、それは口に出しません。

日本の代議員会にメータ次期国際会長がアマラスリヤ第二副会長候補者をお連れになりました。前日私は次期会長から伺ってはおりましたが、西南アジア・アフリカ地域の国際理事候補二人と、彼らを応援するメンバーらも大勢で見えたので驚きました。

大会最終日の閉会式で、クジアク国際会長からメータ新国際会長への交替が厳粛に行われました。そして新会長がガバナー・エレクトの起立を求め、カウント・ダウン。世界中の新しいガバナーの誕生です。

年度最初の国際理事会が開催され、委員会編成について提出された動議は満場一致で採択されました。伏見理事はPR委員会、山田理事は長期計画と大会委員会所属となりました。栢森新治元334・A地区ガバナーが国際理事会アポインティーに任命、LCIFと奉仕事業委員会に配属されました。

委員会が開始される日の早朝に、国際会長ら執行役員と各委員長との会議があります。私にとって最初の経験です。少し緊張して会議室に入りました。私以外の委員長は一年理事の時と同じ委員会の所属です。私だけが会則及び付則委員会から地区及びクラブ・サービス委員会に移動になりましたので緊張もなおのことです。会議を終え委員会会議室へ行きますと、全員が着席していました。もう臆することは許されません。私は委員長席に着き、開会を宣言しました。今年度国際会長方針と委員長方針を述べ、セルジオ・マッジ副委員長（イタリア／二年理事）、二人のアメリカの一年理事と、インドからのアポインティーにスピーチしてもらい、本部の薫アンダーソン地区及びクラブ行政部部長に資料の説明を求めました。部長の合図でコーヒーブレークを取り、会議は和やかになりました。

今年度は日本から国際理事が三人、更にアポインティーも加わりました。責任は重大です。これまでタイと韓国の理事とも仲良くし、共に東洋・東南アジア地域をまとめてきた実績が認められたのだと思います。より一層の精進を誓います。会員皆様からの応援を期待致します。

まるごと 香港国際大会

第88回ライオンズクラブ国際大会

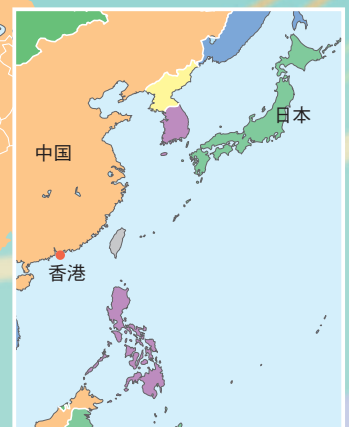
2005年6月27日～7月1日　香港

- インターナショナル·パレード
- 開会式（第1本会議）
- 日本ライオンズ代議員会·朝食会／第2本会議
- 閉会式（第3本会議）
- 地区ガバナー·エレクト·セミナー
- 香港国際大会点描
- 日本ライオンズ in 香港

インターナショナル·パレード

開会式

閉会式

ROAR

二〇〇五年六月二十八日／インターナショナル・パレード

九千人のライオンズ・ファミリーが、香港の夜景に彩り添える。

■取材／編集部

六月二十七日～七月一日、第八十八回ライオンズクラブ国際大会が、香港で開催された。香港での国際大会開催は一九九二年以来二回目。前回はイギリス統治下での開催だったが、今回は体制が変わっての国際大会とあって、当初から大きな注目を集めた。

が、高層ビルが林立し、地下鉄が走り、ロンドンのような二階建てバスが行き交う香港は、中国的色彩がかなり希薄だ。中国返還後も街の様子に大きな変化はなく、イギリス植民地から、中国の特別行政区へと、名称が変わっただけのような気もする。

そんな香港での国際大会の模様を、写真を中心にお伝えする。国際大会の臨場感が少しでも伝われば幸いである。

六月二十八日午後六時、インターナショナル・パレードのスタート地点では、何やらイベントが実施されていた。が、二重三重に取り囲んだ地元報道陣に遮られ、何が行われているのかさっぱり分からない。

やがて人垣が解け、パレード進行方向正面に陣取った報道陣が、蜘蛛の子を散らすように消えると、香港らしい龍の踊りを先頭に、インターナショナル・パレードが始まった。蒸し暑い香港の気候を考慮して、夕方からのスタートとなった。

二〇〇五年六月二十八日／インターナショナル・パレード

香港特有の蒸し暑さを吹き飛ばし、涼しげに行進した日本ライオンズ。

■取材／編集部

国際役員に続いて世界のレオが行進。更にクジアク国際会長の出身地区である22複合地区、テーサップ・リー前国際会長の韓国、アショク・メータ第一副会長のインド、ジミー・ロス第二副会長のテキサスが続いた。インドは昨年十二月に起こったインド洋津波災害への支援に対する感謝を表しながらの行進で、沿道から大きな声援が送られた。

今年の行進順は、アルファベットの真ん中MとNで区切り、まずNからZ、次いでAからMという順番で、日本は百四十五の行進隊のうち、百二十二番目にスタート。

パレードが始まって一時間ほどたつと、外は徐々に暗くなり始めた。パレード・コースはメーン・ストリートから

は離れており、沿道の聴衆も心なしかまばらだ。いつもなら華やかという形容詞がぴったりのインターナショナル・パレードだが、今年はお世辞にも華やかとは言い難い。

また、パレード・コースの途中に工事中の個所があり、その部分で必ず行進隊がひっかかって、パレードは遅延を余儀なくされた。そのため、日本ライオンズは集合時間から二時間以上が経過した午後九時過ぎに、ようやくスタートを切る羽目になった。

が、日本の参加者たちは、待機時間の長さや、蒸し暑さといった悪影響を感じさせない、元気な行進ぶりを見せてくれた。男性陣は白のパンツにポロシャツ、キャップというスポーティーな出で立ち、女性陣は浴衣に日傘というスタイルで、涼しげに行進して見せた。

パレード・コンテストではどの部門にも入賞は出来なかったが、ここ数年を振り返ると、今年の行進がいちばん良かったように思う。（鈴）

世界中のライオンズを魅了した聴覚障害者のダンス・パフォーマンス。

二〇〇五年六月二十九日／開会式

■取材／編集部

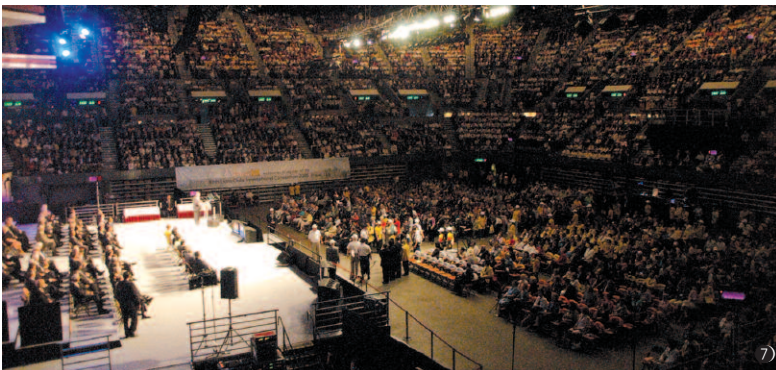
❶

六月二十九日、第八十八回国際大会開会式が、香港コロシアムで開催された。香港には一万人クラスの会場が、ここ香港コロシアム（実際には七千～八千人程度）しかなく、これまでの大会と比べると、かなり狭い感じだった。

そんな中、報道陣の数が異様に目立つ。国際大会に対する注目度の現れだろうか。そう思っていたのも束の間、香港行政長官があいさつを終え退席すると、報道陣も一緒にいなくなってしまった。会場出入口で即席の記者会見が開かれ、広報官と記者団との間で国際大会そっちのけの質疑応答が行われていた。

一方、開会式は例年通りのプログラムで淡々と進行。クジアク国際会長の年次報告、

ジミー・ロス第二副会長の進行によるフラッグ・セレモニーなどが行われた。

開会式で印象的だったのは聴覚障害者のダンスチーム。左右に立つ指揮者の合図により一糸乱れぬ演技を披露。特に千手観音を模したパフォーマンスは圧巻だった。（鈴）

❶フラッグ・セレモニー ❷開会式が行われた香港コロシアムはかなり狭く、外の大型スクリーンで開会式を見る会員も多かった ❸クジアク国際会長年次報告 ❹ドナルド・ツァン香港行政長官歓迎あいさつ ❺ジョンソン&ジョンソン・アジアを代表してジョン・アン副社長から国際協会の小児失明対策に二十九万ドルが贈られた ❻視力ファースト中国行動計画で中心的役割を果たす中国身体障害者連盟の表彰 ❼香港コロシアム全景 ❽聴覚障害者のダンス・パフォーマンス

二〇〇五年六月三十日／日本ライオンズ代議員会・朝食会／第二本会議

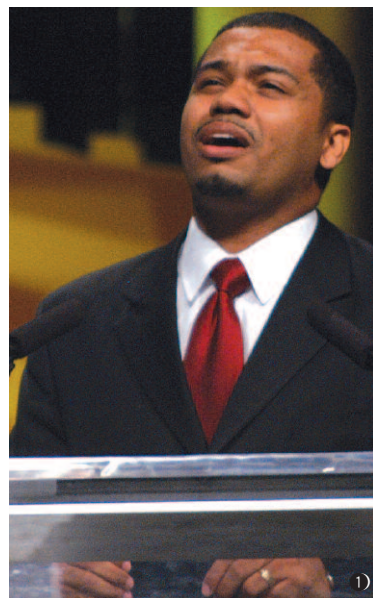
感動的な第二本会議のステージで、いよいよCSF Ⅱがキックオフ。

■取材／編集部

朝食会にはテーサップ・リー前国際会長と韓国のウー国際理事、タイのロビサス国際理事も出席。国際理事候補の伏見龍、山田實紘が就任に向けた抱負を述べ、支援と協力を求めた。
❶開会あいさつをする野中杏一郎議長連絡会議世話人
❷大久保彦国際理事のあいさつ
❸代議員投票について説明する石橋幹雄国際理事

早朝七時、日本ライオンズ代議員会・朝食会の開かれたカオルーン・シャングリラ・ホテルのボールルームは約五百人の参加者で埋まった。石橋幹雄国際理事から代議員投票の説明が行われ、熱心にメモを取る姿も見られた。

途中、メータ第一副会長が第二副会長立候補者のマヘンドラ・アマラスリヤと西南アジア・アフリカ地域の国際理事候補者二人を伴い登場。同地域では定員二人に候補者三人が立候補しており、残る候補者一人も会場を訪れて、それぞれに支援を訴える選挙合戦が繰り広げられた。

午前十時、第二本会議が香港コロシアムで開会。基調講演のスピーカーは青少年育成の活動に取り組むアメリカの

❶情感あふれる歌声を披露した基調講演スピーカーのスコット氏 ❷銅鑼の音と共にCSF⊠のスタートを宣言 ❸白い杖を効果的に使った視力障害者チームのダンス ❹CSF⊠に十万⊠以上の貢献をした「リーダーシップの騎士」の表彰。リー前国際会長を含む十二人は日本、韓国、香港、インドなどアジア勢が占め、日本は大久保彦国際理事、福井正憲元国際理事、栢森新治元地区ガバナー、伏見龍元地区ガバナー、山田實紘元地区ガバナー、都筑（ライオンジ）順雄の六人にメダルが授与された ❺国際第二副会長候補はスリランカのマ（ライオンジ）ヘンドラ・アマラスリヤ ❻山田實紘国際理事候補、❼伏見龍国際理事候補はそれぞれ英語のスピーチでアピール

マニュエル・スコット氏。貧しく荒廃した家庭に生まれ十一歳にして薬物に手を染めた少年時代と、ある教師との出会いを機に立ち直った経緯を語り、「一つの出会いが子どもの人生を変える」と力強く訴えた。心に迫るスピーチに、観衆は立ち上がり大きな拍手を送っていた。

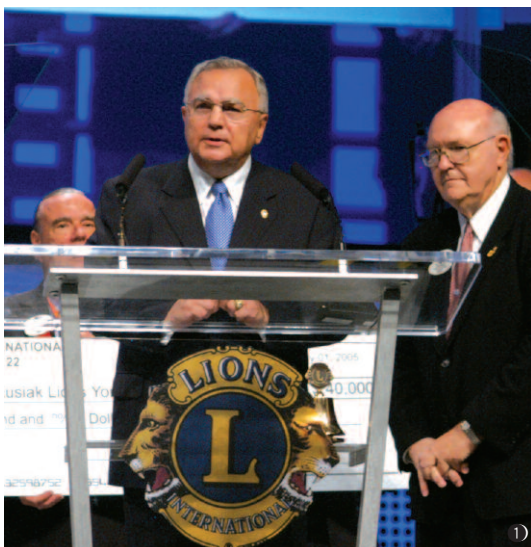
この会議中、キャンペーン視力ファースト⊠（CSF⊠）の国際委員長を務めるリー前国際会長がCSF⊠のキックオフを宣言。会場には一九二五年に「ライオンズよ盲人の騎士たれ」と訴えたヘレン・ケラーの肉声テープが流され、ライオンズの奮起を促した。更に視力障害者のグループが、匂いや音、触感で春を感じる様をダンスで表現。喜びが伝わってくる感動的なステージだった。この後には国際理事候補の演説会が続き、第二本会議はたいへん中身の濃い内容。しかし開会式では入場制限をするほどだった会場は空席ばかり目立ち、残念な思いがした。（河）

二〇〇五年七月一日／閉会式

大会のハイライト、情熱とパワーみなぎるメータ新国際会長就任。

■取材／編集部

2)

1)

大会最終日の朝は早い。投票場には七時開場と共に代議員が集まり、やがて長い列が出来た。今大会の代議員登録数は三、七九三人（補欠三五四人）。日本は四〇八人（同一三人）で、アメリカ、インドに次ぐ。うち実際に投票したのは三六〇人。日本では毎回、代議員派遣の少なさが議論される。今回は同じOSEAL地域内とあって昨年を百人上回ったが、まだまだ十分とは言えない状況だ。投票の結果、日本の二候補を含む十七人の国際理事を選出、また国際会則及び付則改正案五項はすべて可決されたことが、閉会式の中で発表された。

投票場から閉会式の開かれる香港コロシアムに移動すると、場内は陽気なムードが漂

❶クジアク国際会長の地元、22複合地区(メリーランド州)の会員が、会長の業績をたたえてクジアク基金の創設を発表

❷クジアク国際会長に招かれて壇上に登り、感謝の拍手にこたえる香港国際大会ホスト委員会（右がポール・ファン・ホスト委員長）の面々

❸就任演説を行うアショク・メータ新国際会長。インドからの国際会長就任は、九二年度のローイット・C・メータ国際会長に続く二人目

❹閉会式の最後はガバナー・エレクトの就任式。「エレクト」のリボンを外す

っていた。二階席ではバンドの演奏に合わせ踊り出す人の姿も。一階席の多くはインドのメンバーたちが占め、同胞の国際会長誕生を祝おうと待ちかねている。

　閉会式では、任期を全うしたクジアク国際会長がアショク・メータ新国際会長の誕生を告げると、会場は歓声に包まれた。続いてインドのメンバーによるデモンストレーションがスタート。手に手にプラカードを掲げ、会場内を練り歩く。祝福にこたえて手を振るメータ新会長と握手しようと押し寄せる人たちで、ステージ前はちょっとした混乱に陥った。

　喜びの波がなんとか収まったところで、新国際会長の就任式。国際会長の誓いを読み終えると、クジアク会長からメータ新会長へ国際会長の槌が手渡され、固い握手が交わされた。続く就任演説では終始真剣な面もちで、テーマに掲げる「飛躍への情熱」を力強く訴え、新たな一年の船出を果たした。(河)

香港国際大会

二〇〇五年六月二十三日～二十七日／地区ガバナー・エレクト・セミナー

同じ釜の飯を食いながら学んだ五日間。新年度に向け準備万端。

■取材／編集部

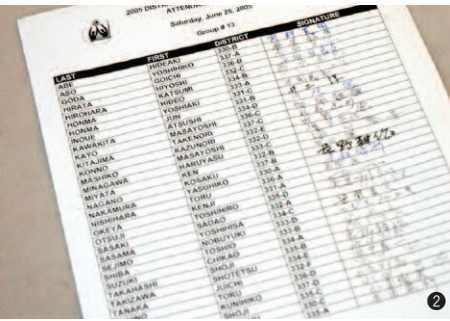
①

③

⑤

⑥

⑦

⑧

国際大会に先立ち、六月二十三日から二十七日まで、香港コンベンション&エキシビション・センターで、地区ガバナー・エレクト（DGE）セミナーが開催された。セミナーは七百五十二人（うち女性百七人）のDGEが、二十八のグループに分かれて実施され、日本の三十三人は同一グループで受講した。

後藤隆一グループ・リーダー（講師）は、地域フォーラム前後に開催される上位ライオンズ・リーダーシップ研究会でも度々講師を務めており、非常に手際よくセミナーを運営された。講義の内容は地区ガバナーとしての準備に始まり、新国際プログラム、ミッション30、キャンペーン視力ファーストⅡ、更には紛争解

決や権限委譲、聴き方、話し方といったリーダーとしての技能にまで及んだ。

初日はまだ、各DGEとも堅苦しい雰囲気が抜けなかったが、日を重ねるごとにリラックスして講義に臨み、積極的に意見やノウハウを開示し情報を交換。その中から連帯感も生まれ、充実した五日間となったようだ。（鈴）

❶日本のグループ・リーダーを務めた後藤隆一元333・C地区ガバナー
❷期間中は毎日、出席チェック
❸❹❺❻セミナーは後藤グループ・リーダーの講義で始まり、課題、小グループに分かれてのディスカッション、発表、総括といった手順で進められた
❼今回は新たに配偶者プログラムも加わり実施された
❽セミナー終了時には総括を提出
❾日本の三十三人は一つのグループでセミナーを受講した
❿セミナー中、メータ次期会長が部屋を訪れエレクトたちを激励
⓫DGEセミナー閉会式
⓬六月二十六日の夜に開催されたタレント・ショー。グループごとにそれぞれ趣向を凝らした出し物を披露。日本は夫人たちも参加して、仙台フォーラムPRを兼ね斉太郎節を唄い踊った
⓭タレント・ショーは閉会式で六部門の表彰がある。写真は国際プログラムを上手に採り入れたことが評価される「ベスト・ユーズ・オブ・プレジデンシャル・テーマ」を獲得したイタリアのグループ

楽しみながら、国際協会の動向を知ることが出来る国際大会。

二〇〇五年六月二十七日～七月一日／香港国際大会点描

■取材／編集部

1)

3)

2

5

4)

7

6)

❶インターナショナル・ショー（六月三十日）❷ミッション30会議（六月二十八日）❸CSF⊠国際委員会（六月二十八日）❹道徳規準と行動に関するセミナー（六月二十九日／米島忍元国際理事）❺奉仕について：東洋・東南アジア（六月二十九日／大久保彦国際理事）❻オープニング・アイズ・プログラム（六月二十八日）❼ライオンズのすべて（六月二十八日／団英男元クラブ会長）❽メーン会場の香港コンベンション＆エキシビション・センター ❾コンベンション・センター内部 ❿国際平和ポスター・コンテスト最優秀賞受賞者サイン会（六月三十日）⓫インターネットカフェ ⓬環境写真コンテスト ⓭ライオンズのアカデミー賞晩餐会で最優秀地区に輝いた330・A地区の山浦晟暉ガバナー（六月二十九日）⓮335複合地区主催YEの集い（六月二十八日）⓯仙台フォーラムPRブース ⓰代議員登録 ⓱投票（七月一日）

二〇〇五年六月二十七日～七月一日／日本ライオンズin香港

魅力いっぱいの香港。世界の、日本のライオンズが過ごした五日間。

■取材／編集部

photo/Hideo Dan

今大会の登録者数は全体で一五、〇〇六人、うち日本は二、六四五人と国別で最多だった（六月三十日午後四時現在、大会部調べ）。

開催地の観光も大会参加の楽しみの一つ。曇天続きのあいにくの天候だったが、香港の魅力はおいしい料理とショッピング。近代的なビル群と活気ある下町風情の対比も面白い。日本の皆さんも存分に楽しまれたことだろう。

期間中、印象的だったのが、黄色いポロシャツ姿で案内係を務めるボランティアの若者たちの笑顔。彼らのホスピタリティーに、各国のライオンズも感心していた様子だ。

来年はジャズのふるさと、アメリカ・ニューオーリンズで。再見！（河）

pick up ピックアップ

明日のライオンズを考える

【出席者】
飯塚信一（元333複合地区議長／千葉県・成田）
重松良次（元335複合地区議長／大阪府・茨木）
魚住昭三郎（元337・D地区ガバナー／熊本キャッスル）
高橋義太郎（元332・B地区ガバナー／ライオン誌日本語編集長／岩手県・藤沢岩手）
【司会】
今井三和（元330・A地区ガバナー／ライオン誌日本語版委員／東京京橋）

日本のライオンズには、どのような明日が待っているのだろう。現状を見据えた時、明日に向かうには何が必要なのか。それを話し合う座談会にお集まり頂いたのは、二〇〇二年度に強いリーダーシップと斬新な手法で国際協会を牽引したケイ・K・フクシマ国際会長（当時）の下、変革の気運が高まる中で地区ガバナーの任を務められた三人の皆さん。本誌の高橋編集長、今井委員も加わって、同期ガバナー五人による議論は大いに沸騰した。

若い会員をいかに迎え入れるか

今井　今日は我々同期の元地区ガバナーで、日本のライオンズはどういう方向に進んでいったらいいのか、話し合っていきたいと考えています。皆さん複合地区の委員長など全日本レベルで活躍していますが、まずはライオンズの現状についてどのように考えているか、意見を聞かせてください。

重松　『ライオンズ必携』に出ていますが、数値で見ると日本の会員数もアクティビティ金額も、二十五

年前に逆戻りしている。それだけ高齢化が進んだということだと思いますね。それによって何に対しても消極的になっているのが現状じゃないですか。平均年齢が七十歳近いようなクラブもありますが、そうなるともう、若い人たちは入ってこないですよ。

魚住　このままでは若い会員はついてきませんね。魅力がない。

高橋　確かに結成から長い歴史のあるクラブほど、高齢化が進んで、停滞している傾向がある。

飯塚　私のクラブは結成四十年になりますが、若い人たちも入ってきますよ。会員が亡くなった場合にはその息子が入ってきてね、世代交替もうまくいっている。会長、幹事はだいたいが若手だね。

高橋　うまくいっているクラブには、魅力があるのでしょう。先輩の会員たちに理解があって、若手を育てる努力をしているのだと思う。でもそれもしないで、あまりに平均年齢が高くなったら、若い会員を迎えるのは難しい。

今井　まず我々が考えなきゃいけないことは、いかにして若い会員が入って来やすいようにするか、ということ。

高橋　我々がガバナーの時、フクシマ国際会長がエクステンションに力を入れたけれど、停滞したクラブを建て直すよりは、新しいクラブを作った方が早いという考えがあったんだと思うね。

飯塚　会員数を伸ばしていこうと思ったら、若い人たちだけを集めて新しいクラブを作った方がいいでしょうね。実際に我々の地区にも、四、五十代の会員だけのクラブがありますよ。それから、このところの新しいクラブは、年会費を六万円ぐらいに抑えて運営するクラブが増えています。

今井　そういう流れは全国的にありますね。一流ホテルを例会場にして、ライオンズのステータスを重んじるクラブもある一方で、若い会員からはライオンズのステータスって何なの、という疑問の声も出ていますよ。

重松　我々の地区でも若手の会員だけで作ったクラブもあるし、女性クラブもたくさん結成されている。これからはいろんなタイプのクラブを作らないといけない時代だと思いますね。これでなきゃダメ、という態勢では会員は増やしていけないでしょう。

今井　以前はクラブの結成は地域単位だったけれど、最近は趣味の会や、東京では大学の同窓生によるクラブなどが出来て、クラブの成り立ち方が変わってきている。そうなると考え方も違ってきているわけです。それを昔と同じような方向に持っていこうとするのは無理があるんだね。

魚住　時代が変わっているわけで

すからね。日本にライオンズが出来て五十二年。旧態依然としていてはいけない。

今井　こうした疑問点だとか意見というのは、若い会員からもっと出て来ていいはずなんだよね。それがないというのは、意見を持っていても出せない状況にあるということでしょうか。

重松　地区年次大会をやるとね、新しいクラブ、若いクラブほど大勢出席してくるんです。自分たちの意見を言える場所を作っていこうと思っている。ところが、型通りの進行で何も発言する場もないまま終わってしまう。そうなるともう、やる気がなくなりますよ。

魚住　そこが大きな問題だね。地区大会と複合地区大会を同じ時期に、同じような内容で開催しているのがまずおかしい。だいたい、大会の終わるころには参加者の半分以上がいなくなるでしょう。

高橋　確かに退屈だね。

今井　330・A地区の場合はね、毎回副地区ガバナーに複数の立候補があって選挙になる。だから代議員は強い参加意識を持って集まってきますよ。

飯塚　それは緊張感があるでしょうね。他の地区ではだいたい選挙と言っても、候補者が一人に絞られているから。

重松　だいたいが審議にかける議題もあまり出てこないですからね。

魚住　大会の準備にかける時間と労力、経費を無駄にしている。本来は組織としての決定と引き継ぎ、研修の場であるはずなのに。例えば複合地区大会はシンポジウム形式でやるとか、もっと工夫をして、会員の意見交換が出来るような会議をやったらいいんですよ。

現在の地区数は適正か?

今井　私はこのところ、日本ライオンズは組織が弱体化しているんじゃないか、と感じているんですが、皆さんはどう思いますか。

飯塚　私は弱体化はしていないと思うね。ただ各国と比べて日本の会員減少率が高いのが、弱体化ととらえられるのでしょう。まだ組織体としての水準は高いと見ています。ただ、将来を見据えて再考するということは必要ですね。

今井　母体はしっかりしているという見解ですね。

魚住　私は今改革をしないと、このままでは日本のライオンズはだめになるという危機感を持っている。その一つが地区の再編ですよ。今は国において、道州制を導入する案が出ていますが、ライオンズも早く組織を見直すことが必要でしょう。私の持論では複合地区は現在の二倍の十六に、準地区は六十に分割するべきです。それに現在のように五千人も六千人もいる地区では、ガバナーはクラブ訪問も満足に出来ず、雲の上の人になってしまう。それが二千人ぐらいの地区になれば、問題を抱えてガタガタするクラブが出ても、ガバナーが立て直しに動くことが出来ますよ。それに、国際的な影響力も大きくなる。

今井　どうですか、現在の三十三地区は適正だと思いますか。

飯塚　333複合地区は新年度から新潟県と群馬県が分割して一地区増えた。事務局の運営費など財政的なことも勘案していくと、まずは都道府県単位で地区を構成するのが理想的だと思いますね。

高橋　332複合地区は、既に県単位で地区を構成していて、一地区当たりの会員数も二千人程度になっている。公式訪問で各クラブを回った時にも、クラブに声が届いているのを実感しましたね。

魚住　少なくとも都道府県単位、更に大都市では人数割の地区編成を考えないといけない。337・D地区の場合は熊本、鹿児島、沖縄の三県ですから、旅費・交通費だけで年間二千万円もの費用が掛かる。それに県単位になればキャビネット事務局を

固定することが出来て、経費の節減にもなりますよ。

重松　確かにその通りですが、規定では地区の構成には最低でも会員数が千二百五十人、クラブ数が三十五クラブ必要でしょ。それをクリア出来ない県もあるんですよ。分割したくても出来ない状況なんですね。

魚住　数が足りないからだめ、ということでなく、国際協会との調整によっては、暫定地区にするという方法も十分に考えられますよ。

「日本は一つ」を現実に

今井　例えば地区ガバナーを選ぶにしても、若いガバナーが出てくる地区と、ある程度の年齢にならないと出てこられない地区とがあると思うんですよ。

魚住　若いガバナーが出られるようにするにはまず、先ほども話した地区の数をもっと増やすことが有効になる。

飯塚　そうすれば当然、チャンスが早く回ってきますからね。

重松　二〇〇二年大阪国際大会のPRのため韓国を訪問した時に聞きましたが、次に韓国から国際役員を出す時にはこの人たちを推します、というのがもう決まっているんですね。地区ガバナーを四十代で務め終えて、そろそろ国際理事にも出てくると思います。そうやって次のリーダーがはっきりしている。ところが日本は、いまだに足の引っ張り合いでしょう。

今井　そうして路線が一本に決められてしまうことにはさまざまな意見があると思いますが、日本の現状から比べると、うらやましいなと感じますね。

重松　一つにはローテーションというものの、善し悪しがありますね。

魚住　ローテーションが必要な場合もありますが、場合によっては大きな弊害となります。

高橋　例えば、将来の国際会長と目されるような人が出てきたとしても、ローテーションの順番を待たなければその前段階の役職に就けないということが起こる。

飯塚　必ずしも必要ではないですね。相応しい人がいれば、どんどん出していけばいいですよ。

魚住　日本は国際協会に大きな貢献をしているのに、五十三年間で国際会長が一人しか出ていないでしょう。

飯塚　もう大分経ちますが、故小川清司第二副会長が就任を一年後に控えて亡くなられてから歯車が狂いましたね。

重松　日本がまとまるには国際会長を出すことですよ。そうなれば全日本が一丸となれるし、その後も元国際会長がリーダーシップを発揮して、一つにまとまっていけると思います。

今井　最近は特に、日本ライオンズとして各地区の足並みが揃わない場面も見られますね。

●ミニ・フォーラム

明日のライオンズを考える

in 仙台フォーラム

仙台フォーラムの会期中、「明日のライオンズを考える」をテーマにしたミニ・フォーラムをライオン誌日本語版委員会主催で開催します（日程・会場は下記の通り）。このミニ・フォーラムでは全国のライオンズ会員の皆さんから寄せられた声を基に、明日のライオンズについて共に考えていきます。

ライオンズの現状や今後の進路について意見や提言、疑問点をお持ちの方は、要旨を1,200字以内にまとめ、Eメールか郵送、FAXでライオン誌日本語版事務所「ミニ・フォーラム」係（あて先は74㌻）へお寄せください。締切は9月15日(木)。なお、応募の中からライオン誌日本語版委員会が何点かを選考してミニ・フォーラムで発表し、話し合いを持ちます。また当日、採用されたご本人が参加される場合は、会場で発表して頂きます。

■日時：10月9日(日) 14:00～16:00（予定）
■会場：仙台国際センター
■ライオンズ、ライオネス、レオ会員は参加自由

重松　一つにまとまらない大きな要素には、それぞれ自分の複合地区とか地区のことしか考えていないことがあるね。

魚住　その通りです。各複合地区がバラバラで八つの国に分かれていて、全国的な結束もない。これでは世界に日本の声を届けることも出来ませんよ。

重松　それを解決するには複合地区の議長にもっと権限を与えるべきだと思います。今は議長に議決権がないから、ガバナー協議会議長連絡会議でいくら話し合っても、複合地区に持ち帰ることになる。その時点でガバナーに反対されたら全く前に進めないでしょう。

飯塚　ガバナー協議会議長というのは地位としては複合地区のトップになるわけです。ですから議長連絡会議をもっと権限のある機関にしないといけないね。今のままでは議長が集まって申し合わせをするだけでしょ。

高橋　私はどうして各複合地区のガバナー協議会の方を先に開かないのかと不思議なんだよね。議長連絡会議の後にガバナー協議会を開催しているでしょ。これはおかしいと思いますよ。まずはガバナー協議会に議案を送り、そこで審議して各ガバナーの意見をとりまとめてから、議長連絡会議に持ち寄って、そこで決定出来るようにするべきじゃないでしょうか。

明日のライオンズを考える

今井　いろいろな問題点が出ましたが、さっきも言ったようにクラブそのものは確実に変わってきてるんですよね。

高橋　会員の意識やクラブそのものが変化しているのに、リーダーが旧態依然としているのが大きな問題だろうね。まあ、我々もそのリーダーの中に含まれるんだけれども。

魚住　組織の上の方で話されていることが、下まで届いていかない。

今井　私は前から思っているんだけど、議長連絡会議で何が話し合われているかということが、クラブや会員に伝達出来ていないよね。もっと情報を伝えて風通しをよくするべきですよ。

高橋　それとは反対に、個々のクラブ、会員からの意見を吸収していないのも問題でしょう。

今井　では、それを実現させるには、どうしたらよいのか。

魚住　クラブの目線で考えて、日本全体で意思の疎通を図る会議が絶対に必要だと思いますよ、私は。

飯塚　海外では全国規模でライオンズの会合を開いているという国が多いよね。

魚住　今年はちょうどＯＳＥＡＬフォーラムが仙台で開催されますから、これをいいチャンスととらえて、明日のライオンズを考える会を開催したらいい。

高橋　仙台フォーラムでは出来るだけ多くの皆さんに積極的に参加してもらえるよう、テーマごとにミニ・フォーラムを開催することになっています。既にＩＴや女性会員をテーマにしたものが計画されている。「明日のライオンズを考える」をテーマにミニ・フォーラムを開くのもいいアイデアだと思いますね。

重松　パネル・ディスカッションとかやり方はいろいろあるでしょうね。せっかくの機会ですから、全国から事前に意見を寄せてもらえばいいですよ。

高橋　明日のライオンズについて、意見や提案をお持ちの会員の皆さんが全国にはたくさんいらっしゃるはず。そうした皆さんに参加してもらって、一緒に話し合ってみたいですね。

今井　全国の会員が共に明日のライオンズを考えるミニ・フォーラムが開催されたら、この座談会もたいへん意義あるものになります。ぜひ実現させたいですね。

CLUB REPORT

クラブ・リポート

●この欄ではライオンズクラブ、レオクラブ、ライオネスクラブの活動報告を扱います。詳しい投稿要領は64㌻をご覧ください。

長崎北ライオンズクラブ

核の悲惨さを世界に発信

長崎北ライオンズクラブは、会報に掲載した会員の被爆体験記の英訳版をアメリカのライオンズクラブ国際協会本部へ送付、各国の会員誌への掲載を要請する。

体験記を寄せたのは平山兼則さん。爆心地から約一・五キロの地点で防空壕を掘っている最中に被爆した。自身は無事だったが、兄を亡くし、自宅も全壊、母親は行方不明のままという。

体験記では、原爆投下前の生活や投下直後の市内の惨状、兄の最期の様子などを克明に記述。被爆直後の精神状態を「どんなひどい状況を見ても、ちっとも人間らしい感覚がわかなかった」とつづり「正義のために核兵器を使用するという論理は絶対に成り立たない」と訴えている。

木村孝秀会長は「原爆の惨禍が二度と繰り返されないよう、一つでも多くの国で読まれることを願う」と期待している。

平山さんは「核兵器がもたらす悲惨な結果への理解を少しでも世界に広げる助けになれば」と話している。

（『長崎新聞』6月5日）

（編）体験記全文と英訳を国際協会公式ウェブサイト内のライオン誌のページで公開中。アドレスは左記。
http://www.lionsclubs.org/JA/content/news_news_action_jp.shtml

連絡先→TEL〇九五・八四六・八六五五

島根県・出雲広瀬ライオンズクラブ

土2.5トンを山頂に運び上げる

イラスト／篠田和夫

戦国時代、尼子氏が居城とし難攻不落と言われた月山富田城。城がなくなった今も広瀬町のシンボルです。その月山山頂に樹齢四百年、高さ二十㍍、根元の幹周り四㍍の大モミジがあり、秋には葉が真っ赤に色づき市民の目を楽しませています。最近、その根を覆う表土が風雨で流失、枝が所々枯れるなど木の衰えが目立っていました。

そこで、出雲広瀬ライオンズクラブ（家島幹夫会長／30人）は、「みどりの日」の四月二十九日、私たちの世代で枯らしてはいけないと「月山山頂大もみじ救出作戦」を敢行しました。

木の根元を土で覆うのですが、険しい山道のため、機械での搬送は無理で、人海戦術しかありません。

地域に「作戦」への参加を呼び掛けたところ、周辺住民だけでなく市外からも親子連れやグループが集合。大人から子どもまで約百七十人が、真砂土を土のうに詰めて背負い、山頂まで運び上げました。

その量およそ二・五㌧。地面に露出したモミジの根をすっかり覆うことが出来ました。七往復もした頼もしい小学三年生もいました。

クラブでは八月にも同様の保護活動を予定しています。

（前会長／中村義英）

（編）メンバーたちは、途中ですれ違う子どもたちの元気さに励まされながら、山道を登ったそうです。

連絡先→TEL〇八五四・三二・二一五五

東京すずしろライオンズクラブ

「盲導犬ベルナのお話会」開催

東京すずしろライオンズクラブ（前田議永会長／18人）は去る三月十二日、郡司ななえさんの「盲導犬ベルナのお話会」を練馬区内のホールで開催しました。昨年に続く二回目です。

　講師の郡司さんはベーチェット病により二十七歳で失明しました。結婚後、子育てのために「触るのもいやだった」という犬嫌いながら、盲導犬の助けを借りることを決意。その初代がベルナです。

　モットーは評論家大宅壮一さんの言葉「人生はダブルヘッダー、二回戦の場所がある」で、現在、「しっぽのある娘」である盲導犬と共に、視覚障害者と盲導犬への理解を訴えるため著作や講演を続けています。この「お話会」は、八百二十四回目だそうです。

　郡司さんは講演の中で、盲導犬に対する世間の理解がなかった昔、飲食店で入店を断られ続けたことに触れ、「犬と人間が心を通わすことが出来るのだから、人間同士ならもっとそれが出来るはず」と語り掛けました。

　集まった小中学生や幼稚園児たちは一時間半の講演の間、静かに聞き入っていました。

　郡司さんの講演からは、生きる勇気と喜びが学べます。「出来るだけ多くの人たちにお話を聴いて頂きたい！」と思っており、来年の開催を楽しみにしています。

（前会長／山田順子）

（編）郡司さんの生き様は、テレビドラマで大竹しのぶさんが演じ、近い将来、アニメ映画化される予定。

連絡先↓TEL〇三・五三三九・三四四〇

愛知県・瀬戸ライオンズクラブ

「夜回り先生」講演に市民1200人

瀬戸ライオンズクラブ（服部紀夫会長／75人）は五月二十一日、結成四十五周年記念講演会を瀬戸市内のホールで開催した。講師は夜の繁華街などでたむろする子どもたちに歩いて声を掛ける「夜回り先生」として知られる元高校教師の水谷修さん。「いいんだよ！　昨日のことは」と題して講演し、薬物乱用の怖さや子どもたちを非行や薬物から守るための生々しい体験を語り、市民ら約千二百人が熱心に聞き入った。

　水谷さんは約二十年間の教師生活の大半を少年少女の非行、薬物問題の防止にささげ、五千人以上の生徒と向き合った夜回りをしながら、子どもの更生に尽力してきた。

　講演の中で、水谷さんは「イライラした今の社会は攻撃的。親や教師は言葉で子どもを責める。弱い子どもたちは学校でも家庭でも叱られて居場所がない。結局、昼の世界に背を向け、夜の世界に入っていく」と指摘。「教育の原点は子どもを信じて待つこと。大人たちはじっくり待って、考えさせてあげることが成長につながる」と説いた。

　また、「好きで非行に走ったり、リストカット（自分を責めて手首を切る）したりする子どもはいない。怒らず、優しい言葉をかけ、愛を与え、触れ合ってほしい」と聴衆に呼び掛けた。

　加藤十四朗前会長は「一人でも多くの子どもたちを闇の中から、明るい日差しの下へ救い出す活動の一助になれば幸い」と話している。

（前薬物乱用防止委員長／浅野政司）

（編）本誌六月号「ピックアップ」でご紹介した薬物乱用防止教育の講師養成講座もご利用ください。

連絡先↓TEL〇五六一・八四・一一六五

大阪府・豊中千里ライオンズクラブ

ゴルフで救命救急に貢献

豊中千里ライオンズクラブ（石原正一会長／42人）では継続アクティビティの一つとして、毎年チャリティー・ゴルフ大会を開催しています。今回で八回目です。これまでに豊中市へ車いす約六十台や、昨年度は福祉施設への支援金として五十万円を贈るなど地域密着のチャリティーとして定着しています。

今年度は、去る五月十六日に兵庫県三田市のカントリークラブで開催し、約百六十人が参加。晴天に映える新緑の中、ご自慢（?）のナイス・ショットで競って頂きました。

プレー後の表彰式でも「あのパットが入ってレバ……」「あのチョロがなかっタラ……」のタラレバ合戦で和気あいあいと盛り上がりました。

当クラブの大会は、運営はプレーするメンバーが行い、プレーしないメンバーは賞品の拠出で協力して頂く全員参加の形で実施しています。

今年度は、収益金で豊中市健康福祉部へ自動体外式除細動器（AED）を寄贈、人命救助に役立て頂くことになりました。AEDは発作などで心臓停止を起こした人に電気ショックを与えて心拍を正常に戻す装置です。市でもまだ消防署に一台しかない希少なもの。このチャリティーで二台を寄贈出来たことは参加して頂いた皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。今後も、皆様のご協力を頂きながらチャリティー・ゴルフ大会を成功させ、地域のお役に立てることを願っています。

（前幹事／出田秀）

（編）昨年、AEDは一般の人による使用も認められ、公共の場への設置が急速に進んでいます。

連絡先→TEL〇六・六八四八・〇三三七

栃木県・黒磯ライオンズクラブ

フィリピンの孤児院に楽器寄贈

黒磯ライオンズクラブ（渡辺孝会長／25人）は、結成四十周年記念事業の一つとしてフィリピンの孤児院に楽器購入資金を寄贈し、このほど現地から感謝の手紙が届いた。

首都マニラの北西百七十キロのサンアントニオ市にあるシェパードヒルズ孤児院では、二歳から十二歳までの子ども百人が共同生活している。同施設には、野菜を自給自足出来る農園があったが、十年前にピナツボ火山噴火による火山灰で埋まり、建物の一部も壊れたまま。生活は苦しい。

昨年末、メンバー四人が現地を視察し、楽器が何一つない名ばかりの音楽室や、おもちゃも本もない子どもたちの部屋に絶句。その場で同施設のメヒカナタリエル理事長に楽器購入のため、日本円で二十万円の提供を約束した。

ほどなく理事長から「電子オルガン五台、ギター六本、バイオリン十二台とフルートを購入し音楽のレッスンが始まった」との手紙が送られてきた。中には楽器を演奏する子どもたちの写真が同封されており、「子どもたちのこんなに明るい笑顔は、初めてだ」と添えられていた。

クラブでは支援第二弾として茨城県・常陸太田ライオンズクラブの石川一博提供の子ども靴三百五十足、黒磯市内の中学生が集めたおもちゃと笛を発送。再び、子どもたちのうれしそうな写真が届くのを心待ちにしている。

（幹事／井上幸一）

（編）その場で支援を約束する決断力に感服致しました。

連絡先→TEL〇二八七・六五・五六七七

兵庫県・姫路さくらライオンズクラブ

子どもたちに「愛されている実感」を

私たち姫路さくらライオンズクラブは、女性クラブの特徴を生かして「子育て支援」を昨年度の奉仕の柱としました。

最近注目されている児童虐待から子どもを守るため、何をすればよいのかと考えた末、市民の視点から実際的な解決方法を探ろうと、講演会とパネル・ディスカッションを開催することにしました。

「ライオンズクラブ全国SAKURAフォーラム」（「さくら」の名前を冠した女性クラブのネットワーク）の各クラブの協力で、厚生労働省や文部科学省、警察の担当官など多方面からパネリストを招請。また、基調講演は女優でエッセイストの市田ひろみさんにお願いしました。

そして、当日の二〇〇五年二月十三日。「身近で虐待を見たらどうするの？」「原因は何なの？」「どうしたら防げるの？」……。

会場を埋めた約六百五十人の市民が熱心に耳を傾けてくれました。PTAの親たちが率先してPRに動いてくれ「私たちの企画が市民を動かした！」という実感を味わうことが出来ました。

更にうれしいことに、我々の呼び掛けにこたえて、同じ世界的な奉仕団体である国際ソロプチミストやITCも行動を共にしてくれました。

多くの人たちが子どものことを考えていることが地域にしっかり認識され、子どもたちも「自分は愛されている。社会から大切に思われている」と実感出来たと思います。これが何より大きな成果です。後日、各方面から感激の言葉をたくさん頂き、私たちもウィ・サーブを実感。

今後とも市民の味方として、地域のリーダーとして研鑽を積む必要を感じています。この企画を通じて、心と心の触れ合いの大切さや私たちの役割を再認識出来ました。

（前会長／海老原あかね）

（編）昨年度、全国の児童相談所での児童虐待の相談件数は約三万三千件。十四年連続増で一九九〇年度の約三十倍と深刻化しています。

連絡先↓TEL〇七九二・八一・二八〇〇

鹿児島谷山ライオンズクラブ

磨崖仏を望めるよう大清掃

鹿児島市内の清泉寺跡地に残る磨崖仏を楽しんでもらおうと、鹿児島谷山ライオンズクラブ（上村千尋会長／56人）が五月十五日、清掃、整備活動をした。地域住民や少年野球の子どもたち、約二百三十人が参加。周辺の草取りやテーブル付きベンチなどの設置に汗を流した。

同クラブは「地域の古いものを残そう」と昨年十一月、同跡地のやぶ払いを実施、がけから磨崖仏が姿を現した。多くの見学者が訪れるようになったが、竹の根が切り立ったりして足場が悪かったため、本格的に整地することにした。

作業は同クラブのメンバーが重機を使い竹の根を掘ったり土をならしたりし、子どもたちは草取りなどに取り組んだ。約一時間半かけて集めた草木は四㌧トラック三台分ほど。さっぱりした跡地にテーブル付きベンチ二脚と寺の沿革を示す看板を取り付けた。

参加した小学生は「多くの人たちが訪れて、ゆっくりできる場所になればいいと思う」と話していた。

（『南日本新聞』5月21日）

（編）がけには金剛力士や阿弥陀如来が彫られているそうです。

連絡先↓TEL〇九九・二六八・三三二一

獅子吼

題字／山田　貞男（北海道・名寄）

（応募要領→64ページ）

●獅子吼（ししく）①仏が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力にたとえていう語。②大いに熱弁をふるうこと。（広辞苑）

社長、還暦にて僧侶になる

柚原　康峰（広島県・呉）

発心は我が非を知る五十八の春　沙門康峰

頭を剃って坊主頭になった私を見て、会う人会う人になぜ出家したのかと聞かれます。動機を問われても一言では言えません。強いて言えば、五十八歳になるまでの生涯すべてが出家の動機です。五十八歳の時、心の底から仏様に仕えたいと思い、不思議な力、ご縁に導かれて仏門に入りました。出家得度は高野山真言宗龍泉院にて。呉うるめライオンズクラブ会長の高塩光淳照明寺住職のご紹介で無事終えました。

孔子は「五十にして天命を知る」と言っております。岡倉天心は「世間では人間は十で禽獣、二十で発狂、三十で失敗、四十で山師、五十で罪人」と言いました。いつまでも獣でいると、五十歳になった時罪人になるよ、と言っているのであります。先人の言葉通り、五十歳（現在なら六十歳）になると、自分というもう一人の人間が見えてきて、良い判断が出来るようになるのだと思います。

最近よく、「退職してやることがない、時間を持て余している」と耳にします。本当の人生は六十歳からです。今こそ自由な発想で好きなこと、やりたいことをやりましょう。今まで一生懸命がんばってきたのですから、ご褒美です。余生はボランティア活動もいいでしょう。大自然の中での晴耕雨読も、旅行や趣味の充実もいいと思います。高野山の大師教会に「生かせ　いのち」と書かれた大きな石碑が建っております。皆様には、良い判断力も断行力もあるのですから、これからは中身の濃い一日一日を大切に有意義に過ごしましょう。きっと人生が楽しくなると思います。「死もよし、生もよし」と達観するのは、まだまだ先でよろしいかと思います。

小生は今、瀬戸内海の野呂山（八三九?、国立公園）の山寺で修業、念仏三昧の、人生においての至福の時を過ごさせて頂いております。夢にまで見た僧侶の生活です。これからお寺を建立したり、耕心塾を開設したり、夢幻の里を建設したりと、やりたいことがたくさんあります。「念ずれば花開く」「やれば出来る」と身を粉にしても、骨を砕いても、やり遂げたいと思う今日このごろです。　合掌

（僧侶・60歳）

ライオンズよもやまばなし

加藤　勲（宮城県・仙台南）

一九七八年六月十二日の夕方、宮城県沖地震が発生。私は外出先から急いで帰宅の途中でした。道路の信号は停電のためにストップし、混乱状態でありました。屋根が地面につ

いた魚屋、壊れたブロック塀や倒れた電柱など、ショックで声も出ないほどでありました。
　私の住居は仙台市南部にありますが、屋根瓦は崩れ落ち、柱は折れ、障子紙はさざ波のごとく破れ、ガラスは一枚のままはずれて飛んでいるという、見事な壊れようでありました。大自然の巨大なエネルギーを見て、人智の及ばぬところと実感しました。幸い家族は全員無事で、互いに喜び合いました。
　そんな時、大工の棟梁・橋本信二郎さんが、建物の応急処置の手伝いに来てくれました。町内のよしみで奉仕作業を申し出られたのです。途方に暮れていたので助かりました。地震で大きな損害を被りましたが、周囲の温い人情に触れることにもなりました。禍転じて福と成すように、全力で復興を進めました。後年、私がライオンズ会員として最初にスポンサーした会員は橋本棟梁であります。クラブの奉仕活動でもたいへん助力頂きました。
　私がライオンズに入会したのは、八〇年三月。町内会長の大和栄吉さんが当時のクラブ会長をされていて、入会を熱心に勧められました。「人間五十を過ぎたなら、社会奉仕に精進するのもよいのでは」と話されたのです。
今年五月、記念すべき第五十回若獅子旗争奪少年野球大会が開催されました。青少年の健全育成を目指し、少年野球大会を提唱されたのは、大和ライオンズクラブであります。第一回大会が、クラブ結成五周年記念事業として開催されてから、二十五年間の長期継続アクティビティとなり、現在に至っています。
　全国南ライオンズクラブ友好会は、クラブ名称に「南」を冠する、北は札幌から南は鹿児島までの二十三クラブによって結成されています。ホストクラブを決めて、年一回の年次友好大会を開催しています。全国的な視野を持って情報を交換し、ライオニズムの高揚を図り、地域特性を生かして友好を深めています。仙台南ライオンズクラブでは、「奉仕の始まりは足下から」の理念の下、「家庭を大切に」も奉仕の一つとして、友好大会には毎回家族同伴を呼び掛けて、会員の相互理解と親睦を図ると共に、家族の皆さんとの交流を深める好機として取り組んでいます。奉仕活動に楽しく参加出来る環境づくりが、最も重要なことであり、年間行事もいろいろと計画されています。

イラスト／小川和政

　私は年齢を重ねるにつれ、寺院や名所巡りの機会が多くなりました。寺院において何かと役立つことをお布施と言います。一般的には浄財を指すと思われていますが、庭の草取りやお堂の掃除なども立派なお布施であると伺っております。ライオンズにも、金銭アクティビティや労力アクティビティなどがありますが、奉仕の心は一つだと思います。
　東京都港区高輪には、赤穂浪士ゆかりの泉岳寺があります。拝観に訪れた折、御堂の掲額に「獅子吼」の文字を見かけ、感慨無量でありました。その意味については、『ライオン誌』の「獅子吼」のページに毎号解説が載っています。私は『ライオン誌』を毎月興味深く読ませて頂いていますが、もし読んでいなければ、この額も見過ごしてしまったかもしれません。心から感謝申し上げます。
（農業・76歳）

ネパールの教育支援と
コーヒー栽培

一刈　吉房（福岡鶴城）

一九九七年ごろ、現福岡市長の(ライオン)山崎広太郎（福岡博多東ライオンズ(クラブ)）と有志が、ネパールからの留学生との交流が縁で、教育が受けられない子どもを支援しようと立ち上がった。九八年にNPO「福岡・ネパール児童教育振興会」を設立。ポカラの辺地、海抜千?のニルマル村の丘陵地を選び、小学校建設に着手した。それから七年、生徒数の増加に伴い今春完成を目指し校舎を増築中である。

この間、多くのライオンズが現地に赴き教育事業を支えてきた。九九年には、福岡博多東ライオンズ(クラブ)の申請でLCIF交付金一万千五百?を受けている。現在、市内三十九クラブの多くが、さまざまな形で支援に参加している。私のクラブも、九九年から支援に加わり、二〇〇一年の二十五周年記念事業として図書館建設の支援も行った。

同振興会は支援期間十年を目安にしているが、依存心の高い国民性もあり、恐らく支援が終われば学校の運営は出来なくなるだろう。そう考えた振興会の篠隈光彦理事長（福岡博多東ライオンズ(クラブ)）は、機会あるごとに、村人自らの手で資金を稼ぐよう促してきた。村人の自立を探る中、ニルマルと同じような環境の隣村で、コーヒー栽培に成功しているという話を聞いた。これが栽培提案の元となり、〇三年に村人の資金で約七千本の苗木が植えられた。

コーヒーは三～五年で収穫出来る。収穫後の販売方法を相談された私は、五十余年コーヒーにかかわっていたから、無関心ではいられない。しかし私は栽培のプロではない。そこでスイスに本部を置く「ボルカフェ社」を推薦、産地事情に詳しい角谷社長に加わって頂き、今年一月下旬、振興会理事長、スタッフ、そして私の四人で現地調査となった。

調査は、まずカトマンズ近郊の生産地から始まった。コーヒー畑は急斜面の丘陵地に散在し、収穫されたコーヒーを背負って集荷場まで運んでいる。生産性の低さが読みとれる。あっちこっち転々と視察して目的のポカラに飛び、目指すはニルマル村。腸がよじれそうな急坂を四輪駆動で約九十分走り小学校に到着。校庭で村民との対話集会に臨んだ。まず村人に苗木を何本くらい植えたのかと尋ねると、三十本、五十本、あるいは百本、二百本と自慢げに話す。次いで現状を聞くと、五十本、七十本枯らした、と途端に声が小さくなる。どうやら三〇～四〇?は枯らしている様子。集会後に二、三の畑を巡回したが、残念ながら手入れをした様子は見られない。急斜面の山間に家屋が点在するこの村では水の確保が大変だが、亭主は昼から酒に浸り、生活用水の運び役はもっぱら女性と子どもらしい。

翌日、この事業のモデルとした隣村、ベグナスを訪ねた。ここも道路事情は悪く、四駆に揺られ一時間。ニルマルと似た環境だが、栽培者の姿勢が全く違う。村人は水の一滴をも大切にし、水たまりを作り畑に活用する知恵を働かせている。コーヒーは収穫期に赤い

実を付ける。実りを迎えた村人の笑顔に苦労の跡がうかがえる。

ポカラを離れる前夜、農民代表を招いた懇談会で、「コーヒー栽培で学校の運営資金を稼ぐには、相当な努力が必要だろう。また、隣村の村民と比較して、栽培に取り組む姿勢と情熱に違いを感じる」と訴えた。一方、申請中のＪＩＣＡの協力を早期に得て、栽培に必要な水資源の確保を急がねばならない。

生産地としては北限ギリギリだが、やがてヒマラヤの自然に育まれたコーヒー樹が赤く実るだろう。その時、村人の自立・自主運営に灯りが点り、アクティビティに参加したライオンズの目的が達成するのだと考える。私はその日を楽しみに、栽培指導のボランティアを続けたいと考えている。（元会社役員・73歳）

夏季の例会をノーネクタイで

横山　静（神奈川県・川崎武蔵）

花見のシーズンが終われば、間もなく暑い夏がやってきます。ここ一、二年、「当社は夏季ノーネクタイ、ノー上着勤務を実施しています」と、断りの掲示板を置いている銀行や企業があります。今年もまたその数は増えることでしょう。お堅い霞ケ関の中央官庁でも、地球温暖化防止の省エネ対策として、夏の軽装「クール・ビズ」を推進しています。

省エネ研究機関の発表によると、人間の体感温度は上着を脱ぐことで二度、ネクタイを外すだけでも二度下がるそうです。このノーネクタイ、ノー上着を全国レベルで広め、各職場のクーラーの設定温度を二～三度上げる努力をすれば、相当のエネルギー節約になります。言うまでもなく地球に優しい環境づくり、今開催されている「愛・地球博」のテーマそのものにつながることでありましょう。

さて、これまでライオンズの社会奉仕は「人に優しく」に重点を置いてきたのではないでしょうか。しかし、最近の『ライオン誌』などを読むと、「環境に優しく」という言葉が散見出来るようです。「熱帯地域に植林を」というスローガンも目につきます。たいへん素晴らしい奉仕活動なので、大いに発展させてもらいたいものであります。しかし、もっと身近でだれでも、どこでも簡単に取り組める環境にやさしい奉仕活動がないでしょう

か。そこで私は提案致します。ライオンズの例会を、夏季だけでもノーネクタイ・ノー上着と決めることを。

現在我が国には、十三万人近いメンバーと三千四百余のクラブがあります。各クラブで月に二回の例会が開催され、皆さんはその際、ネクタイと上着を着用した正装で出席しているのではないでしょうか。これを七、八月は軽装にすることで、会場の温度設定を二、三度上げても体感温度は変わらなくなるのです。身近な効率の良い省エネとなるのではないでしょうか。各自が「環境に優しく」を実践しているという喜びと自覚を持って進めてもらいたいと思います。

(スリッパ・メーカー・64歳)

認証四十周年を前にして

奥村　嘉明(北海道・北見中央)

三月十五日は当クラブの第九百八十三回例会。ライオン・テーマーである私は、この日が誕生日のライオン丹羽和子に「ライオンズの誓い」をお願いした。入会四年目の彼女は笑顔で登壇、「もう大して嬉しくもない誕生日ですけど……」と会場の雰囲気を和らげておいてから、堂々と「誓い」の務めを果たしてくれた。そうは言っても彼女の年齢は、当クラブの平均年齢をぐっと下げてくれているのである。

三月十五日生まれがもう一人。チャーター・メンバーのライオン古賀義一である。例会終了時の「ライオンズ・ローア」を彼にお願いした。「先ほどライオン丹羽が大して嬉しくないと言われたが、私には嬉しい誕生日です。なにせ喜寿ですから」という言葉に、会場は大きな拍手に湧いた。「三年後の傘寿の誕生日も楽しみにしていますよ」と言って、腹の底から響くローアを三唱。ライガー(ライオンがトラになる＝飲み会)では、必ずと言っていいほど「また会う日まで」のソング・リーダーとして美声を轟かせているライオン古川である。

作家の浅田次郎氏が、「これからの人の年齢は八掛けでいい。九十になっても七十二歳、私は書き続けているでしょうね」と講演で言っていたのを、ふと思い出した。そしてメンバーの顔をざっと見渡した。みんな若い。笑顔なのでよけいに若い。

以前、「古稀祝い」に異を唱え、記念品を受け取らなかった先輩がいた。だが、年を重ねることは歴史を刻むことである。人にしても然りであろう。ライオン古川のように素直に自分の年齢を喜べる人間であろう、そう思った。

それにしても、なんと「鮮やかな例会の流れ」であろうか……と自画自賛して酔っていたら、会長の「閉会のゴング」を飛ばして、「これで例会を終了します」とやってしまったテーマーである。

こんなドジも笑って許してくれる我がクラブが大好きだ。このクラブが六月に認証四十周年を迎える。「もう四十年」と言う人がいる。人間に例えると「不惑」の年齢を迎えるわけだ。惑わされず……、惑わさず……。

八掛けすると、なんだ、三十二ではないか。「まだまだ」だ。

(飲食店経営・58歳)

俳壇

■選者　森　澄雄

【特選】

銀閣寺走りの梅雨か苔の花　（千葉県・船橋シニア）小嶋　廣次

（評）銀閣寺（慈照寺）は京都市左京区銀閣寺町の臨済宗相国寺派、山号東山、本尊釈迦如来。文明十四年（一四八二年）足利義政が祖父義満の北山殿（金閣）にならって、浄土寺跡に造営した東山山荘が前身。義政没後、遺言によって夢窓疎石を追請開山に、義政の法名から慈照寺と号し禅寺とした。建立当初は十二楼の建物であったと伝えられる。梅雨の前ぶれの雨か苔の花が広がっている。

貴船にて索麺流しに興じをり　（兵庫県・神戸シニア）野口　章子

（評）貴船は京都市左京区北西部、鞍馬山と相対する貴船山とその麓、貴船川に沿った山間部を指す。水をつかさどる貴船神社がある。貴船で索麺流しに興じている。

（応募要領→64ページ）

【入選】▼

裾からげ土砂降りの雨傘の人　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

竹植ゑて隠れ部屋なる小間の部屋　（新潟万代）相田　捷三

梅雨ごもり辞書と煎茶のあればよし　（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

傘寿享け涼も新たや無位無官　（東京御茶の水）栗原保之助

郭公やアルプス望む療養所　（愛知県・南知多）内田　白花

早苗先づ産土神へ供へけり　（福井県・敦賀）山本　麓潮

薫風や掌あげ声あげ嬰笑ふ　（兵庫県・西脇）高瀬　博子

近江富士漸く見えて湖霞む　（大阪プラム）竹田　房子

若葉風仏間に通し僧迎ふ　（大阪夕陽丘）増川　良昭

鹿の子の顔似てゐたり奈良に来て　（大阪府・東大阪）木村　稔

秘湯への隠し道あり桐の花　（大阪府・堺浜寺）平井真佐雄

湯気と香を先づは仏へ豆の飯　（大阪府・堺浜寺）仲西　健豊

青葉木菟月かげ深き御廟山　（和歌山県・伊都高野山）慈幸　貴洋

里山は富士のかたちや袋掛　（香川県・丸亀京極）和家　誠治

昼顔の浜賑やかに網を曳く　（佐賀県・唐津レインボー）古川　工

歌壇

■選者 春日真木子

【特選】

初夏の海に抱かれて進みゆく船の太笛四方にこだます
（大分県・中津沖代）松本　達雄

（評）初夏の海。空の曇りも拭われて、光も眩しさを増し、豊かな紺青の海が浮かぶ。その海が、さらにゆたかになるのは、「海に抱かれて進みゆく」の二、三句の表現である。特に「海に抱かれて」がよい。海という字には、母も含まれていることを思い起こした。エネルギッシュな、しかもあたたかい海のうねりのなかを、船は力強く進んでゆく。時折鳴らす笛もふとぶとと四方にこだましている。視野のひろい爽快な一首である。
今号は、加藤、君塚、竹田氏の作品にも注目した。

（応募要領→64ページ）

【入選】▼

月のなき夜はかなたの空に向き想いの月に祈るひととき
（青森まほろば）加藤　捷三

ファインダー覗いて無心花を撮る風が止むのを息堪えつつ
（栃木県・西那須野）佐藤　嗣人

御宿（おんじゅく）の網代（あじろ）の湾に大疾風　波は数万の白狐の如し
（千葉県・房総勝浦）君塚　一雄

木の芽添え筍飯をふるまえる老のよろこびささやかなりし
（神奈川県・小田原）清水　幾代

プラレールに電車走らせ小一時間飽かず見詰むる孫に膝貸す
（愛知県・西尾東）坂部喜三江

湧水の清き水路に梅花藻（ばいかも）の花をつけつつ縞目にたゆたふ
（三重県・四日市北）横井ますみ

もう七十まだ七十歳と人工歯根（インプラント）を夫決断す穀雨の夕べ
（石川県・羽咋）竹津　弘子

麦秋に想いは巡るテームズの河辺に立ちし遙かな日々を
（福井中央）井上　一男

霧のなかにコートを羽織る人の立つ一樹のごとく身じろぎもせず
（兵庫県・山崎）竹田　長司

村道の駄菓子屋前のバスは発つただひとり待つ私を乗せて
（徳島県・鴨島）乾　忠義

柳壇

■選者　大木俊秀

【特選】

人間も鳥もひしめく水飲み場　（鳥取県・倉吉打吹）谷口　潜風

（評）カンカン照りの真夏日。鳥ののどの乾きを思いやって庭に水を置いてやると、野鳥たちがかわりばんこにやって来て、いかにもおいしそうに飲む。中には水浴びをしていく鳥もある。その光景に、作者は人間を重ね見るのである。「ひしめく」が利いている。

根廻しをせぬ正論が叩かれる　（青森県・弘前中央）高橋　敬

（評）誰からも反論の出そうもない、まことに道理にかなった意見であり提案でもあるのだが、会議の席上なんだかんだとイチャモンがつけられる。なぜだろう。そうか。「俺は聞いてないぞ」組のいやがらせか。根廻しはおろそかにできぬ。それが世間というものなのだ。

（応募要領→64ページ）

【入選】▼

不況時のライオンたちはねばり抜く　（岩手県・藤沢岩手）藤沢　誠

まだ婆さん鏡も見るし飯も炊く　（岩手県・藤沢岩手）及川　平一

幸せは小さい方が長つづき　（岩手県・水沢中央）平澤　真樹

男一匹妻の前では尾をたらす　（新潟県・五泉）長澤　信一

夢を売る男は軽い嘘を言う　（新潟県・見附）宇之津滋朗

国連の理事国入りも梅雨入りか　（千葉県・船橋シニア）灘山　徳治

人生は動く歩道に乗ったよう　（千葉県・東庄）藤﨑　久男

事件事故起きてはじめて知る地名　（千葉県・東庄）大須賀光幸

手始めのメールを孫に披露する　（静岡県・大仁）山本　順平

一人旅ふと気がつけば独り言　（福井県・敦賀みなと）田中　信幸

あの国とうまくいくかと風に訊く　（大阪イースト）片山　和子

教え魔と廻るゴルフの今日は鬱　（京都鴨川）栩谷　四朗

生き延びて何か良い事ありそうか　（島根県・松江湖城）長谷川　孝

褒められて微妙にずれてくるリズム　（宮崎橋）井上　忠一

雨あがる明日の弁当子等の夢　（宮崎橋）甲斐　忠視

クラブ会員刊行物

●日本シニアライオンズクラブ連絡協議会 第二回全国フォーラム

A4判 本文87ページ
非売品

発行／鹿児島県・国分隼人天降川縄文ライオンズクラブ（TEL〇九九五・四三・五七七七）

五月十四日に開催された、第二回全国フォーラム。三十七のシニアクラブに対し二十八項目にわたるアンケート調査が行われた。その集計結果。

●町会物語

B6判 本文163ページ
非売品

著者／谷村仙太郎（ライオン福壽務／東京目白ライオンズクラブ／TEL〇三・三九五五・七七二一）

町会長・幸夫を主人公に、ゴミ出しのルール作りや防災・防犯などの町会活動を通じて地域の連帯を目指す人々の姿を描く。

訂正とお詫び

七月号「クラブ・リポート」（51ページ）宇都宮ライオンズクラブの文中で、福田富一栃木県知事の所属は宇都宮中央ライオンズクラブの、「読者から」（65ページ）のライオン小林佐武郎の誕生年は昭和六年の誤りでした。お詫びして訂正致します。

ライオン誌事務所来訪者芳名録

月	日	クラブ	氏名
4	11	東京中野	八田 哲
5	17	東京新宿東	境 脩
5	31	千葉県成田	飯塚 信一
5	31	大阪府茨木	重松 良次
5	31	熊本キャッスル	魚住昭三郎
6	3	福井中央	吉川 義則
6	3	東京町田クレイン	金子 安男
6	9	東京新都心	武田 夏雄
6	9	東京三軒茶屋	藤村 貞夫
6	9	東京城西	佐原 幸雄
6	9	東京恵比寿	荘 英隆
6	9	神奈川県横浜金港	小柴 登司
6	9	埼玉県川越初雁	菊池 茂友
6	9	埼玉県大宮氷川	深見 秀雄
6	9	青森県木造	小山内金弥
6	9	福島県白河小峰	三森 繁
6	9	新潟八千代	岳 哲夫
6	9	群馬県高崎和田	大泉 寛之
6	9	千葉	岡野 正義
6	9	千葉県浦安中央	杉山 民生
6	9	千葉県松戸ユーカリ	福澤 良夫
6	9	兵庫県神戸レインボー	団 英男

ライオン誌投稿要領

カラー

■「MY BEST SHOT」70ページ
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）及びその家族でアマチュア。
●応募作品（題材は自由）プリント（サービス判〜キャビネ判）、スライド（35ミリ以上）、データ（長辺1600ピクセル程度／JPEG最高画質）。一人5点まで。
●プリントは写真の裏に紙を貼り、スライドには必ずマウントをつけ、データはメールの添付書類で本文に、氏名、クラブ名、年齢、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、電話番号を明記。返却希望の場合は、住所、氏名を記入した返信用封筒に切手を貼り同封。締切：毎月15日。

■「ライオンズ・ギャラリー」71ページ
●会員及びその家族。プロ、アマ不問。
●応募作品：絵画、版画、工芸／題材は自由。作品のスライド・フィルムか、カラー・プリント（キャビネ判）。氏名、クラブ名、年齢、職種、作品のサイズ、題名を明記し、作品に関するエッセー、自評など（400字程度）、顔写真を添付。

■「こころのチキンスープ・ライオンズ編」68〜69ページ
●応募資格：会員（ライオン、ライオネス、レオ）やそのご家族、クラブ事務局員など。
●ライオンズにまつわる感動的なエピソードの概略、あるいは1,200〜2,000字程度の原稿。ストーリーは本誌ライターが書き下ろします。

本文

■「クラブ・リポート」52〜55ページ
●ライオンズ、ライオネス、レオクラブ。
●アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に800字程度で。新聞記事は新聞名、掲載日を付記。関連写真があれば添付（返却希望の場合はその旨を明記）。

■「獅子吼」56〜60ページ
●会員及びその家族によるエッセー、提言など。1600字程度。職種、年齢を明記。
●題字はハガキ程度の大きさ。

■「俳壇」「歌壇」「柳壇」61〜63ページ
●会員及びその家族。
●一人ハガキ1枚に3句／首まで。締切：毎月15日。

■「リーダース・プラザ」64〜65ページ
●クラブ会員刊行物：クラブ並びに会員が刊行された出版物を1部送付。
●伝言板：読者間の情報交換に。
●読者から：本誌への意見、感想など。

▼締切の記入のないコラムは随時受付。誌面の都合で編集したり、掲載出来ない場合あり。原則として原稿返却はなし。
▼住所、氏名、クラブ名を明記。文字原稿及びサービス・アクティビティはEメール投稿も可。

送り先：〒104-0045 東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階 ライオン誌日本語版事務所 各コラムあて
ファクス：03-3546-2630
Eメール：edit@thelion.jp

読者から

▼本誌へのご意見・ご感想をお寄せください。　編集部

奉仕の心意気が伝わる

●六月号THEME「LCIFの活用を考える」を読んで、茨城県・下館ライオンズクラブのカンボジアでの小学校建設は、さぞかし大変だったろうと感じ入りました。LCIF交付金を受ける大事業ですし、申請も簡単ではないでしょう。クラブ全員の協力があってこそ出来たことと、深く感銘を受けました。

栃木県・小山●柏☒茂一

「ダメ。ゼッタイ。」を絶対普及

●六月号ピックアップ「『ダメ。ゼッタイ。』の普及に向けて」で、薬物乱用防止教育講師養成講座を開き生きた活動をされている記事を読み、薬物乱用は未然の防止が最重要であることがよく分かりました。六月九日に335・B地区（寺田茂治地区ガバナー）主催の同講座が開かれ、私も参加させて頂きました。ライオン万本盛三（茨城県・土浦ライオンズクラブ）、ライオン寺田義和（東京鶯谷ライオンズクラブ）が講師。薬物乱用の恐ろしさを実感しました。低年齢化も進んでいるとのこと。私たち受講者が「ダメ。ゼッタイ。」の普及に向けてがんばらなければと思っております。

大阪府・岸和田コスモス●八田章子

憧れの宮崎へ

●「ふるさと探訪」をいつも楽しみにしていますが、六月号は憧れの南国・宮崎で、知らないことばかり。昔は新婚旅行のメッカと言われていましたが、まだ一度も訪れたことがありません。あと一カ月で主人のクラブ会長の任期も終わり。慰安の気持ちと結婚三十周年の記念に「行ってみようかなあ」と、心が揺れ動いております。

北海道・江部乙・家族●大塚真知子

クラブの最高齢ライオンより

●獅子吼「拝啓メルビン・ジョーンズ様」のライオン脇田良樹と同様、小生も年金生活の上、三年前に妻を失い、例会出席などのコーディネートに苦労しております。一時は退会も考えましたが、クラブの最高年齢者なので、何かとまとめ役を引き受け、退会を見送っています。クラブには貴誌の熟読者は少なく、例会時に貴誌からのネタを披露し、皆に感心されております。

兵庫県・高砂の松●木下生一郎

役に就かなくても『ライオン誌』

●六月一日、337-C地区次期クラブ三役研修会に参加。北島建則ガバナー・エレクトが「三役になったのだから、ちょっとでもいいから『ライオン』誌を開いてみませんか」とおっしゃる。十二年間時々しかめくらなかったが、今日は熱心に読んだ。林孝ライオン誌日本語版委員長の「編集室／リーダーシップについて考える」はいいことが書いてある。ちょっとノートに書き込んでみた。長崎東ライオンズクラブの「メーク・アップ」は、例会のこと、会員増強のことなど、友人がたくさんいるクラブの紹介で興味深かった。今期は『ライオン』誌をしっかり読み、会計はもちろん、クラブ運営にも役立てていこうと、パワフルな気分である。

長崎●原田清美

美しき貴婦人

●「ライオンズ・ギャラリー」で紹介されていたライオン山田潔の作品「サンリスの婦人」は、淡い色づかい、モデルの顔、あまりの美しさに見入ってしまいました。静岡で個展が開かれるそうですが、九州から見に行くこともかなわず、残念。いつか機会があれば会場に足を運びたく思います。

宮崎県・延岡向洋●濱田瑾子

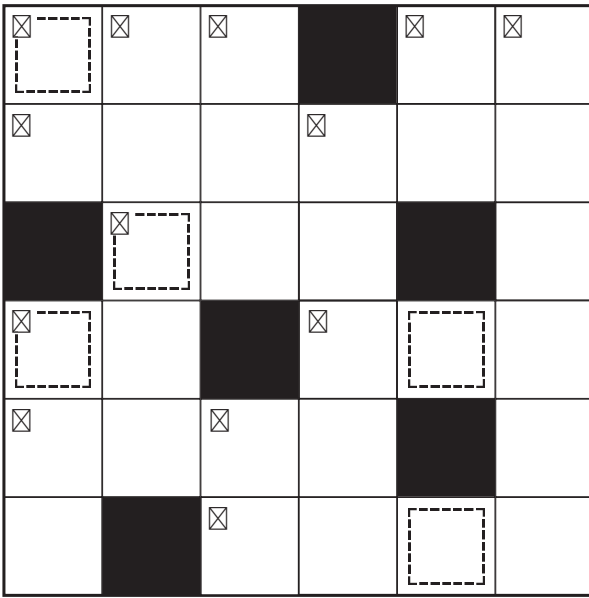
国際化はレディーファーストから

●五月十五日、332・B地区年次大会が開催され、寒風吹く玄関で出迎えのお手伝い。寒くて寒くて震え上がりました。さて、『ライオン』誌はお堅い冊子とばかり思い込んでいましたが、読んでみると情報が広く、ためになり、今では待ち遠しいほどです。六月号「こころのチキンスープ／姉妹提携で学んだレディーファースト」は、花泉に知人が住んでいるので、興味を持って読みました。レディーファースト、ぜひ浸透してほしいですネ。

岩手県・葛巻●高宮光子

クロスワードパズル

点線に入る文字をヒントを基に並べかえてください。正解者の中から十人の方に記念品を差し上げます。ハガキに答えと氏名、クラブ名、住所、電話番号、本誌の感想を書いてご応募ください（あて先は74ページ）。締切は二〇〇五年八月二十二日。

☒[ ]	☒	☒	■	☒	☒
☒			☒		
■	☒[ ]			■	
☒[ ]		■	☒	[ ]	
☒		☒		■	
	■	☒		[ ]	

解答 □□□□□

ヒント：新国際会長が力説。飛躍にはこれが不可欠です。

↓タテのカギ

☒前もって期待すること。○○せぬ結末。
☒新宿・歌舞伎町が代表格。
☒別名、糸切り歯。
☒バレリーナの○○シューズ。
☒第八十八回国際大会開催地にあって、高層ビルが林立する島。
☒正五角形。アメリカの国防総省の通称。
☒讃岐が大人気。
☒ヤリ、アオリ、ホタルなどの種類があります。

←ヨコのカギ

☒深夜。
☒健康のため、環境のためには最適の移動手段。
☒ライオンズの主要事業、視力ファーストの資金調達のために香港国際大会でスタート。
☒忘れたころにやって来る。日ごろの備えが大切です。
☒○○曲折。
☒○○○草。冬枯れしても、春には芽を出します。
☒「即刻」と「即時」、「応接」と「応対」など。
☒トンネル工事、これが完了しなければ通れません。

■前回の答え

ト	ク	ハ	[イ]	■	ル
ン	■	イ	タ	リ	[ア]
チ	ク	ガ	[バ]	ナ	ー
■	マ	[ン]	サ	ツ	■
カ	ド	■	ミ	[ク]	ニ
マ	リ	モ	■	ス	ワ

答えは「アイバンク」

グラス
いっぱいの
幸せ

●第2回 ロマネ・コンティに酔いしれた至福の一夜

ヨーロッパの王侯、貴族の間で数世紀にわたり憧れ、求め続けられてきたロマネ・コンティ。すべてのワインの中で最も完成された、ふくよかなワインである。その豊饒な世界を日本でも知ってもらおうと、フランスのワイン愛好家で、コレクターでもあるピーター・ツーストラップ氏による晩餐会が、一九九一年に京都の都ホテルで開催された。お誘いは、銀座レカンで私に初めてワインを教えてくださった下野隆祥ソムリエ。偉大なワインに敬意を表して、出席した二十七人はタキシードとドレスに身を包み、豪華絢爛な会場となった。

一九四〇、四二、五四、五九、六二、六四、六六、七九、八一、八六年の厳選された十本が、眩しいばかりに並べられ、テーブルのワイングラスがキラキラと輝いて出番を待っている。そこには、サービスを務められる田崎真也氏の姿もあった。初めは緊張感が漂っていた会場も、ロイック・エンキン駐日フランス大使の「私はボルドー出身ですが、ブルゴーニュが大好きで……」のスピーチで笑いに包まれ、和やかな雰囲気に変わった。期待に胸をふくらませながら、八六年の新しいビンテージから古い年代のものへと順番に口にする。やがて会場は別世界になり、全神経を集中し、感性を奮い立たせてワインと語り合った。いつしか、テーブル上のワイン・ボトルが花のブーケに変わり、コメントを求めるマイクが私に向けられた。

「十本を味わった中で、五九年が最も完全にバランスがとれた気品があり、ガーネットの色合いも美しく、花の香りの中でとろける味わいがとても好きです」

このコメントに同感を示してくださった隣席の方こそ、人気雑誌『ワイン王国』の社長である原田勲氏だった。この「五九年」の縁は今も続き、たくさんのことを学び、私のワイン人生に新たな扉を開いて頂けることになった。

晩餐会はその後、祇園の「一力」に会場を移し、舞妓さんと共に京都の五大料亭の料理人による懐石と、ロマネ・コンティを味わった。一流の料理が次々と運ばれてくる。ワインとの相性は別問題として、日本とフランスの文化を融合させた企画としては素晴らしかった。おそらく最初で最後であろうこのイベントを通して、いいワインは人と人とをつなぐ要ともなることを実感した。

イラスト：吉田悦子

■ロマネ・コンティ

ワイン好きなら一生に一度は飲みたいと憧れる赤ワイン。フランス・ブルゴーニュ地方のヴォーヌ・ロマネという村で産出。約一・八㌶の畑は実の凝縮度を高めるため収穫量を低く抑えており、年間の生産量はわずか五百ケースほど。ワインの最高峰。

■植村力子（千葉県・柏なの花ライオンズクラブ）

こころのチキンスープ●ライオンズ編

父の献眼

構成／青山研

息子の祈りで揺すられて、死の床に眠るのは心地よい。

——シラー——

師走に入ったばかりの日曜日でした。南国とはいえ、宮崎もさすがに寒く、その日、宮崎はまゆうライオンズクラブの仲間たちと市内の池内町にある墓苑宮崎みたま園にいました。墓苑には宮崎県献眼顕彰慰霊碑があります。県内の献眼者の霊を慰め、尊い意志を顕彰しようと、宮崎県内のクラブやアイバンク関係者が多くの人に募金を呼び掛け、平成十三年十一月、墓苑の一角に建てたものです。

慰霊碑の清掃は、クラブ恒例の年二回のアクティビティでした。朝八時、慰霊碑の前に集まったライオン藤原たちは、一時間半ほどかけて碑を磨き、周りを清掃し、さっぱりとした笑顔で作業を終えました。検眼表の円の印に似せた慰霊碑は、愛と愛をつなぐ形を示して、キラキラと冬の陽に輝いていました。

ライオン藤原は父の明さんと共にインテリア専門の会社を経営しています。振り返れば多忙な一年でした。明さんは、八十三歳という高齢でしたが、会長を務めています。その日も、元社員だった者を誘い、自転車で先祖代々の墓を掃除に出かけて行きました。

父は、息子のライオンズクラブの活動にも理解がありました。ライオン藤原は、三十七歳の時にクラブに入りました。思えばそれから十六年にもなります。クラブに入った次の年には、もう献眼登録していました。五年後、父と母にも話したら、快く登録してくれました。

何しろ、宮崎はまゆうライオンズクラブの献眼登録運動には長い歴史があります。一九七七年に宮崎県での角膜移植第一号を実現させ、その活動が県内全クラブに広がって、宮崎県アイバンクライオンズ協力会が設立されました。父と母は、息子が事業の傍ら、そういう社会奉仕にも熱心なのを誇らしく思っていたのかもしれません。

師走を迎えると、片付けなければいけない仕事も多くなります。慰霊碑の清掃を終わったライオン藤原

イラスト／吉田悦子

は、事務所に帰り、翌週の仕事の整理をしていました。幸い、いい年を越せそうです。しばらくすると父が帰って来ました。

「お墓、きれいになったよ。風邪も治ったようだから、ちょっと、妹の所へ行ってくる」

すがすがしい笑顔でした。父は車に乗せてもらって出かけ、夜九時ごろ戻って来ました。

「近くのレストランで、食事済ませたよ。うまかったな。さ、ゆっくり風呂でも入るか」

独り言のようにそう言って、父が事務所を出て行ったのは九時を回ったころでした。

「ずいぶんご機嫌だなあ。さて、こっちもこの辺で終わりにするか」

ライオン藤原も仕事を切り上げて帰り、床に入りました。しばらくして、けたたましい電話の音に起こされました。母でした。

「お父さんが大変ッ！」

駆けつけました。父は、風呂の湯船に横たわり、眠っているようにも見えましたが、救急隊の応急措置も空しく、そのまま帰らぬ人となってしまいました。心筋梗塞でした。信じられません。だって、事務所で別れてから、三時間とたっていないのです。

仕事一筋の父でした。体も丈夫でした。長生きしてくれるものとばかり思っていました。それなのに……。ふと、我に返りました。そうだ、献眼登録……。

顔を見るのさえつらいのに、母に話さなければなりません。

「親父の目が、見えない人の役に立つんだ、親父が、宮崎のどこかで生き続けることになるんだ」

後から思い返せば、そんなことを夢中で話していたようでした。

クラブのライオン贄田岳和とライオン福田良久が駆けつけてくれました。素早い二人の連絡で、お医者さんも駆けつけます。手術の間中、いろいろなことが思い浮かびました。幼かった日のこと、仕事に迷った日のこと、とびとびに、あれもこれも思い浮かび、悲しみに耐えるライオン藤原を二人の仲間が励まし続けました。手術が終わったのは明け方近くでした。

お別れに集まっただれもが、父の献眼をたたえました。子息の深い思いに包まれて、父も微笑んでいるかもしれません。ライオン藤原も心の中で棺に呼び掛けました。

「親父、最期まで素晴らしい人生だったよ」

MY BEST SHOT

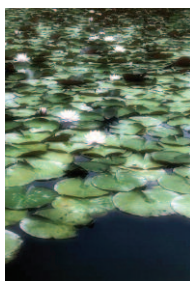
選：河相正名（日本写真家協会会員）

山田隆
群馬県境
［水面（みなも）］

●選評
非常にうまく風景を切り取っている。しかも、水面に映した草木や雲により、スケールをも感じさせる写真に仕上げている。手前に大きく舟を配した構成も見事だし、光と影の扱いも素晴らしい。詩情あふれる作品となった。

優秀作

木村文丸　青森県弘前
［新緑の奥入瀬］

露木義光　静岡県沼津
［花陰に……］

重藤一美　広島県甲山
［すいれん］

山野智要之亮　広島あさひ
［飾り牛］

入選

横内孟　山梨県南アルプス［石仏］
安藤正一　愛知県豊田［眼鏡橋にて］
畔柳東一　愛知県岡崎竜城［恒例］
高橋忠男　愛知県名古屋樟［波紋］
山田武夫　愛知県名古屋樟［天高く］
藤根秀夫　愛知県豊田［夜山］
細内喜太郎　大阪府豊中［翔］
徳田修　大阪難波［東シナ海の夕日］
出口佐知子　大阪府東大阪東［清水］
田尾忠士　愛媛県新居浜ひうち［アヤメ］
菊野善之助　愛媛県松山［笑み］
坂崎初雄　徳島東［イベントの後のしじま］
上野春夫　広島県三原［ミニ電車］

全作品は国際協会公式ウェブサイトでご覧頂けます。　http://www.lionsclubs.org/JA/TheLion/MBS/index.html

LIONS GALLERY

出雲神楽［佐儀利］油彩F130号

第七十八回春陽会展に出品した作品です。一九七九年の初入選以来、ほとんど毎年この展覧会に出品しています。

子どものころ、鎮守の杜から流れる神楽囃子を聞きながら育ったせいか、その神秘的な舞に心を惹かれ、ずっと「出雲神楽」をテーマに描いています。

この絵は、出雲大社近くの漁村、かつては北前船の寄港地として栄えた鷺浦で、正月二日の夜半に家々を悪魔払いをしながら練り歩く伝統行事「佐儀利」を表現したものです。

鬼面をかぶり、浴衣の裾をまくり、手に御幣串を振りかざし、激しく舞う姿は勇壮そのものです。

このたび、新たに竣工した出雲市立大社小学校（以前校長として勤務）に寄贈し、子どもたちに見て頂いています。

（さとう　かずお・64歳）

佐藤收男
島根県・大社ライオンズクラブ
春陽会会員

読者プレゼント

■中国茶（花茶）を五人の読者に

香港国際大会の取材を担当した本誌スタッフが選んだお土産を、読者の皆さんへプレゼント。まずは中国茶（バラの花茶）を五人を読者に。

球状にまとめられた茶葉をグラスに入れ熱湯を注ぐと、茶葉がほどけ、グラス中心からバラの花が現れます。芳しい花の香り、味わいと共に、ゆるやかに開いてゆく茶葉の移ろいを目でもお楽しみ頂けます。

EDITOR'S ROOM

■パスポート・ホルダーを五人の読者に

香港政府観光局（www.discoverhongkong.com/jpn/index.jsp）から革製パスポート・ホルダーが、五人の読者にプレゼントされます。お札入れのほか仕切りも多く、とても便利。

■小物入れを五人の読者に

香港屈指の高級ホテル、ザ・ペニンシュラ香港。そのスイート・ルームのファブリック・デザインを手掛けるデザイナーによるジャクソン・ロウ・スーツの小物入れが五人の読者にプレゼントされます。洗練された色合いのシルク生地で、上部はファスナー、横幅十二?で、底部に三?のマチつき。写真の五色から、ご希望の色を明記してご応募ください。

■香港大会の腕時計を十人の読者に

ライオンズクラブ国際協会第八十八回香港国際大会ホスト委員会製作の大会記念腕時計（売り上げはキャンペーン視力ファーストⅡに献金）が、十人の読者にプレゼントされます。文字盤とベルト部分に、香港大会のロゴがデザインされています。大会会場で買い損ねてしまった方も、大会に参加出来なかった方も、手に入れる最後のチャンスです。

プレゼント応募要項

はがきに住所、氏名、電話番号、クラブ名と「お茶」「パスポート・ホルダー」「小物入れ」「時計」とご希望の品を明記し、下記のあて先へ。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は8月末日。応募多数の場合は抽選となります。当選のお知らせはプレゼントの発送をもって代えさせて頂きます。

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045
東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階

ウェブサイトからの応募
www.lionsclubs.org/JA/content/thelion_present_form.html

次号予告

THEME ? 愛知万博

七月二十六～二十八日に開催される「ライオンズクラブ子ども万博デー」。全国から三千五百人の子どもたちを万博に一日招待、スペシャル企画も。

THEME ? CSF ?

香港国際大会でキックオフとなったキャンペーン視力ファーストⅡ（CSFⅡ）。三年間で一億五千万☒調達を目標に掲げるこの一大キャンペーンについて、福井正憲CSF☒国際委員に話を聞く。

ROAR・ローア
――まるごと331複合地区

九月号は331複合地区特集。「ヘッドライン」は会員減少による解散の危機を乗り越えた釧路湿原ライオンズクラブ。「ふるさと探訪」は北海道のほぼ中央にある深川市を訪ねる。深川は道内有数の米産地として知られ、ライスランド深川のキャッチで、多くのブランド米を作っている。また、いくつかの農家では農産物の収穫や乳製品作りなど、実習体験が出来るファームイン・プログラムを実施している。

そのほか、二〇〇五・〇六年度国際役員、二〇〇四・〇五年度『ライオン誌』年度賞発表など。

Official publication of Lions Clubs International.

We Serve

Published by authority of the Board of Directors in 22 languages - English, Spanish, Japanese, French, Swedish, Italian, German, Finnish, Flemish-French, Korean, Portuguese, Dutch, Danish, Chinese, Norwegian, Icelandic, Turkish, Greek, Hindi, Polish, Indnesian and Thai.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL.(630)571-5466 FAX.(630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオン誌日本語版事務所
〒104-0045東京都中央区築地2-2-1 築地細田ビル7階
TEL.(03)3542-9571(代)　FAX.(03)3546-2630
E-mail. edit@thelion.jp

編集室

日本の『ライオン』誌は世界のトップレベル

ライオン誌
日本語版編集長
◉
高橋義太郎

五月一日から一週間の旅程で、幸運（?）にもベルギー・ブリュッセルで行われた五年ぶりのライオン誌世界編集長会議に出席した。初めてのヨーロッパ一人旅はいろいろな体験とアクシデントを与えてくれた。セカンドバッグの盗難、乗り継ぎが悪く、往きは四時間半、帰りは六時間、パリの空港で待たされたことなどである。

会議はスピーチを聞くだけでなく、ラホイエ国際本部PR部長の司会で、各国の編集長が自国のライオン誌について説明したり、質問したり、活発な意見が飛び交い賑やかであった。

私も「日本のすべての会員に読んでもらえるライオン誌作りに日々努力している。国際会長の方針や国際プログラムを一人ひとりに身近に伝えることが出来るのがライオン誌である。私たちは自分の国や地域で今以上にリーダーシップを発揮すべきであり、国際的に起こっている、また、蓄積しているライオンズの多くの問題の解決に努力すべきである」とスピーチをした。

また、各国のライオン誌に必ず掲載しなければならない記事のリストと会計報告書を渡され、チェックさせられたがすべてにおいてクリアし、ライオン誌日本語版は内容の面でも、運営の面でも世界のトップレベルであると再確認し、少々胸を張らせて頂いた。

ライオン誌は情報をいち早く伝えるのが使命であるが、情報伝達の手段だけではなく、日々私たちが学習するためのテキストでもあるべきと心掛けてきた。日本ライオンズが変化する時代と共存し、発展してゆくための「夢と希望」を生み出す「魔法の杖」でなければならないと思う。

七月の引き継ぎ委員会の出席で皆勤になる（何か賞をもらえるのだろうか、いやもう頂いている。複合地区の議長という大役だ）。新旧四人の委員が入れ替わり、新しい体制でスタートする。ライオン誌日本語版事務所も大饗所長が勇退、職員も一人減って七人になる予定だ。

二年間、さまざまな激励を頂いた読者の皆様、多くのご指導を頂いた大久保、石橋両国際理事、林委員長始め委員の方々に心から感謝を申し上げます。そして急な要請にも素早くこたえてくれた所長始め職員の皆様にも心から御礼を申し上げます。

ありがとうございました。